

【学術雑誌等掲載論文】旧ソ連チェルノブイリ原発事故関係

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
1	Taira Yasuyuki, Hayashida Naomi, Brahmanandhan Gopalganapathi M., NAGAYAMA Yuji, YAMASHITA Shunichi, TAKAHASHI Jumpei, GUTEVITC Alexander, KAZLOVSKY Alexander, URAZALIN	Current Concentration of Artificial Radionuclides and Estimated Radiation Doses from 137Cs around the Chernobyl Nuclear Power Plant, the Semipalatinsk Nuclear Testing Site, and in Nagasaki	Journal of Radiation Research	0449-3060	日本放射線影響学会	2011	52	1	88-95
2	関谷 悠以, V. Karevskaya Irina	一般演題35 ロシアのブリヤンスク州におけるチェルノブイリ原発事故後の住民の線量評価	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	2010/9/25	85		322-323
3	林田 直美, 平良 文亨, Гутевич Алек Сандер, Казрофスキー Александр, Уразалин Марат	一般演題34 チェルノブイリ, セミパラチンスク及び長崎における放射線被ばくリスクについて	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	2010/9/25	85		319-321
4	細田 聡	あの事故を斬る!(3)チェルノブイリ原子力発電所事故	労働の科学	357774	労働科学研究所出版部	Sep-10	65	9	554-556
5		原発・核燃料サイクル関係資料(原発問題全道連絡会編)(チェルノブイリ原発事故24周年講演会 原発に未来はあるか—地球温暖化抑止の切り札になるか大地震への備えは大丈夫か)	北海道経済		北海道経済研究所	Jun-10			19-29
6	大田 勤	現地からのレポート 泊原発とブルサーマル計画、防災対策などについて(チェルノブイリ原発事故24周年講演会 原発に未来はあるか—地球温暖化抑止の切り札になるか大地震への備えは大丈夫か)	北海道経済		北海道経済研究所	Jun-10			12-14
7	柳町 秀一	日本の原子力政策に未来はあるか—チェルノブイリ原発事故24周年にあたって(チェルノブイリ原発事故24周年講演会 原発に未来はあるか—地球温暖化抑止の切り札になるか大地震への備えは大丈夫か)	北海道経済		北海道経済研究所	Jun-10			1-11
8		チェルノブイリ原発事故24周年講演会 原発に未来はあるか—地球温暖化抑止の切り札になるか大地震への備えは大丈夫か	北海道経済		北海道経済研究所	Jun-10			1-29, 巻頭1p
9	寺嶋 悠	熊本学園大学付属社会福祉研究所 第1回研究会 国際医療支援の現場から—市民と専門家による被災者支援プロジェクト(2009年度[熊本学園大学付属社会福祉研究所]公開研究会記録)	社会福祉研究所報	2879166	熊本学園大学付属社会福祉研究所	Mar-10		38	49-64
10	榎本 聡明	HISTORY 私の原子力史(07)チェルノブイリ事故の思い出	エネルギーフォーラム	3885267	エネルギーフォーラム	Apr-10	56	664	106-109

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
11	森住 卓	チェルノブイリ[含 解説]	季論21		『季論21』編集委員会	2010		7	5-12,16
12	藤倉 善郎	チェルノブイリ「炉心への旅」	週刊新潮	4887484	新潮社	2010/1/14	55	2	50-53
13	戸村 京子	バイオエネルギー村(ドイツ)のエネ ギー地域自給に学ぶ:チェルノブイリ被 災地再生への手がかりを求めて	龍谷大学経済学 論集	9183418	龍谷大学	Sep-09	49	1	349-355
14	SAHOO Sarata Kumar,MURAMATSU Yasuyuki,YOSHIDA Satoshi,MATSUZAKI Hiroyuki,RUHM Werner	Determination of <sup>129</sup> I and <sup>127</sup> I Concentration in Soil Samples from the Chernobyl 30-km Zone by AMS and ICP-MS	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	2009/7/16	50	4	325-332
15	平良 文亨,高村 昇,山下 俊一	チェルノブイリ原子力発電所訪問と環境 放射線レベル	Isotope news	2855518		2009/4/1		660	26-31
16	今中 哲二,イマナカ テツジ,Imanaka Tetsuji	チェルノブイリ原発事故の調査を通じて 学んだこと	IPSHU研究報告 シリーズ	1342-5935	広島大学平和科学研究セ ンター	Jan-09		41	75-88
17	Imanaka Tetsuji,Kawano Noriyuki,イマナ カ テツジ,カワノ ノリユキ,今中 哲二,川 野 徳幸	Radioactive Contamination and Social Consequences Caused by the Chernobyl Nuclear Accident	広島平和科学: Hiroshima Peace Science	0386-3615	広島大学平和科学研究セ ンター	2009	31		65-86
18	Podolyak Nataliya	チェルノブイリ原発事故の社会的影響 の分析に関する研究	比較文化研究	9140247	日本比較文化学会	#####		89	163-174
19	伊東 正博,山下 俊一	遺伝子・転写・細胞 チェルノブイリ甲状 腺組織バンクと小児甲状腺癌の病理像 (内分泌病理学最近の進歩 2008) -- (甲状腺および副甲状腺腫)	ホルモンと臨床	457167	医学の世界社	2009	57		68-72
20	児玉 龍彦	逆システム学の窓(28)チェルノブイリ原 発事故から甲状腺癌の発症を学ぶ--エ ビデンス探索20年の歴史を辿る	医学のあゆみ	392359	医歯薬出版	#####	231	4	306-310
21	振津 かつみ	チェルノブイリ事故処理作業従事者の 白血病・悪性リンパ腫に関する新たな	原子力資料情報 室通信		原子力資料情報室	2009/5/1		419	6-9
22	熊木 源次郎	HISTORY 反原子力の社会学(第3話) チェルノブイリ!そしてブーム到来	エネルギーフォー ラム	3885267	エネルギーフォーラム	Jul-09	55	655	122-125
23	七沢 潔	カプセルに閉じこめられた不安--イスラ エルに元チェルノブイリ原発運転員を訪	世界	5824532	岩波書店	May-09		791	281-288
24	野呂 美加	チェルノブイリ災害救援、心のあゆみ(そ の2)	北方圏	0288688X	北方圏センター	2009	146		42-45
25	鎌田 實	チェルノブイリ「命の食」(わが人生最良 の瞬間(とき)--輝ける30人の幸福論)	文芸春秋		文芸春秋	Feb-09	87	2	321-323
26	Prysyazhnyuk A.,Romanenko A.,Gudzenko N.,Fuzik M.,Fedorenko Z.	Thyroid Cancer in Ukrainian Population Groups Affected by the Chernobyl Accident	Data Science Journal	1683-1470	CODATA	2009	8		BR6- BR12
27	Imanaka Tetsuji,Kawano Noriyuki,イマナ カ テツジ,カワノ ノリユキ,今中 哲二,川 野 徳幸	Radioactive Contamination and Social Consequences Caused by the Chernobyl Nuclear Accident	広島平和科学: Hiroshima Peace Science	0386-3615	広島大学平和科学研究セ ンター	2009	31		65-86

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
28	稲村 卓	「日本のチェルノブイリ」と言われて	日本原子力学会誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	18822606		2008/12/1	50	12	816
29	中島 裕夫,梁 治子,野村 大成,斎藤 直,本行 忠志,藤堂 剛	P-129 チェルノブイリ放射能汚染地域に棲息する生物の体内核種動態と遺伝子へのストレス(ポスターセッション)	日本環境変異原学会大会プログラム・要旨集		日本環境変異原学会	#####		37	171
30	TERADA Hiroaki,CHINO Masamichi	Development of an Atmospheric Dispersion Model for Accidental Discharge of Radionuclides with the Function of Simultaneous Prediction for Multiple Domains and its Evaluation by Application to the Chernobyl Nuclear Accident	Journal of nuclear science and technology	223131	社団法人 日本原子力学会	2008/9/1	45	9	920-931
31	本間 俊充	チェルノブイリ事故で放出された <sup>131</sup> Iデータをを用いた環境評価モデルの妥当性検証及び防護措置効果の評価: IAEA EMRAS計画の活動	保健物理: hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Sep-08	43	3	234-245
32	山下 俊一	IS-1-3 核災害と緊急被ばく医療: チェルノブイリからの教訓(第108回日本外科学会定期学術集会)	日本外科学会雑誌	3014894	社団法人日本外科学会	2008/4/25	109	2	62
33	ZENGI AYHAN,KARADENIZ MUAMMER,ERDOGAN MEHMET,OZGEN AHMET GOKHAN,SAYGILI FUSUN,YILMAZ CANDEGER,KABALAK TAYLAN	Does Chernobyl Accident Have Any Effect on Thyroid Cancers in Turkey? a Retrospective Review of Thyroid Cancers from 1982 to 2006	Endocrine journal	9188959		2008/4/1	55	2	325-330
34	戸村 京子	チェルノブイリ被災地の再生へ向けて: 放射能被災地・ナロジチ地区の実態調査からの考察(修士論文要旨)	龍谷大学大学院 経済研究	13454552	龍谷大学	2008/3/14	8		7-9
35	古賀 妙子,コガ タエコ,Koga Taeko,森嶋 彌重,モリシマ ヒロシゲ,Morishima Hiroshige,河合 廣,カワイ ヒロシ,Kawai Hiroshi,西脇 安,ニシワキ ヤスシ,Nishiwaki Yasushi,近藤 宗平,コンドウ	チェルノブイリ原子力発電所事故による琵琶湖生態圏における放射性核種の挙動と分布	近畿大学原子力研究所年報	3748715	近畿大学原子力研究所, キンキ ダイガク ゲンシリョク ケンキュウジョ,Kinki daigaku genshiryoku kenkyujo	Mar-08	44		7-20
36	武田 充司	チェルノブイリ新シェルター・プロジェクトの概要	日本原子力学会誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	18822606	日本原子力学会	2008/2/1	50	2	87-91
37	綿貫 礼子,吉田 由布子	An ecological study on the health problems of the post-Chernobyl children: how we see the transgenerational health effect of	国際関係学研究	0389052X	津田塾大学	2008		35	75-89
38	坂内 義子	チェルノブイリ原発災害事故から二二年	科学的社会主義		社会主義協会	Nov-08		127	35-41
39	平山 令二	グリム童話とチェルノブイリ—ドイツ文学と環境問題 (特集 環境と文学)	世界文学	3852903	世界文学会	Jul-08		107	20-27

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
40	佐藤 努	チェルノブイリ寸前—地震地帯からの原発撤廃こそ	人権と教育		障害者の教育権を実現する会	May-08			151-157
41	野呂 美加	チェルノブイリ災害救援、心のあゆみ	北方圏	0288688X	北方圏センター	2008	144		20-23
42	原口 義座	新・健康セミナー職場での健康管理を上手に取り扱えるようになるために(第18回)原子力災害時の医療・放射性物質による汚染について—食品汚染とチェルノブイリ原子力発電所事故を中	高圧ガス	4522311	高圧ガス保安協会	Jul-08	45	7	548-550
43	菅沼 光弘	四川大地震は中国版チェルノブイリだ!(特集 四川大地震が中共を崩壊させ	月刊日本		K&Kプレス	Jul-08	12	7	20-26
44	安部 愷三	ユーラシアの核汚染—セミパラチンスク核実験場とチェルノブイリ原発事故(特集 ユーラシアのエコロジーを考える)	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	May-08		38	15-20
45	グジー ナターシャ	ふるさとへ チェルノブイリへ 歌声よ、澄みわたれ(私のベストソング)	女性のひろば	3879429	日本共産党中央委員会	Jul-08			52-55
46	姚 憶江	チェルノブイリより怖い“猛毒スモッグ”(中国の「不都合な真実」—大気と水の汚染はどこまで深刻なのか)	クーリエ・ジャポン		講談社	2008/6/1	4	6	62-66
47	嶋田 和真	日本保健物理学会シンポジウム「チェルノブイリ原子力発電所事故から20年その影響の科学的解釈」の印象記(第1部:和文情報)	保健物理: hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-07	42	2	135-136
48	TAKAMURA NOBORU, BEBESHKO VLADIMIR, AOYAGI KIYOSHI, YAMASHITA	Ukraine Urinary Iodine Levels ; 20 years after the Chernobyl Accident	Endocrine journal	9188959		2007/4/20	54	2	335
49	渡會 泰彦, 土屋 眞一, 清水 一雄, 高橋 恵理佳, 横山 宗伯, 内藤 善哉, 村瀬 幸宏, 田村 浩一, 杉崎 祐一	0-18 ベラルーシ共和国における甲状腺癌検診報告: チェルノブイリ原発事故に関連して(脳・頭頸部, 甲状腺, 第48回日本臨床細胞学会総会)	日本臨床細胞学会雑誌	3871193	特定非営利活動法人日本臨床細胞学会	2007/3/22	46	1	147
50	木村 真三, RAKWAL Randeep, 岩橋 均, SAHOO Sarata, 白石 久二雄, 岡部 雅史, PAVIO Zamostyan	チェルノブイリ残留放射能土壌による植物の影響	日本衛生学雑誌	215082		2007/3/1	62	2	483
51	金子 正人	チェルノブイリ20年の真実事故による放射線影響をめぐって	日本原子力学会誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	47120	日本原子力学会	2007/1/30	49	1	24-28
52	ポドリヤク ナタリヤ, 大西 良, 大岡 由佳	チェルノブイリ原発事故の社会的影響の分析に関する研究	久留米大学大学院比較文化研究論集	13443003	久留米大学大学院比較文化研究科	Jul-07		21	87-106
53	加藤 菊緒	チェルノブイリの風	モーリー		北海道新聞社	Dec-07		17	49-51
54	山口 裕之	チェルノブイリの取材から(特集 日本の原発はなぜ「信頼」されないのか) — (政策としての原発/社会における原発)	科学	227625	岩波書店	Nov-07	77	11	1174-1176

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
55	難波 裕幸,山下 俊一	チェルノブイリ原発事故後20年--放射線誘発小児甲状腺がん研究の現状と	放射線生物研究	0441747X	放射線生物研究会	Sep-07	42	3	264-281
56	加藤 和明	放射線のリスクと実効線量--20年後のチェルノブイリを訪れて今考えること	セイフティダイジェスト	5824133	日本保安用品協会	Jun-07	53	6	2-5
57	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による放射能汚染とその影響	設計工学	9192948	日本設計工学会	Jun-07	42	6	318-325
58	鎌田 實	インタビュー チェルノブイリの子どもたちを診つづけて--温かさの連鎖で世界をつなごう(特集 放射能兵器の脅威--われわれは闘う、核兵器がなくなる日ま	月刊保団連	2885093	全国保険医団体連合会	Aug-07			4-7
59	神谷 さだ子	チェルノブイリ原発事故から20年(人権キーワード2007)--(世界の人権・国連)	部落解放	9143955	解放出版社	May-07		582	18-21
60	桃井 和馬	事故から20年、チェルノブイリの実相(特集 原発シンドローム)	季刊軍縮地球市民		明治大学軍縮平和研究所	2007		8	74-77
61	ガイダク ヴィクトル・パーヴロヴィチ	チェルノブイリと私の人生(20年目の証言 原発事故を目撃した私たち--チェルノブイリ避難民の手記)	世界	5824532	岩波書店	Apr-07		763	289-295
62	ディーカヤ タマラ・ヴラディーミロヴナ	チェルノブイリのもたらした不幸と私たちの人生の破局(20年目の証言 原発事故を目撃した私たち--チェルノブイリ避難民の手記)	世界	5824532	岩波書店	Apr-07		763	282-289
63	竹内 高明	20年目の証言 原発事故を目撃した私たち--チェルノブイリ避難民の手記	世界	5824532	岩波書店	Apr-07		763	282-295
64	七沢 潔	チェルノブイリ20年--危うい分岐点を歩いて(最終回)運転員が背負った十字架	世界	5824532	岩波書店	Feb-07		761	259-268
65	七沢 潔	チェルノブイリ20年--危うい分岐点を歩いて(2)汚染大地の物語は終わらない	世界	5824532	岩波書店	Jan-07		760	275-283
66	Tomonaga Masao	A Trial of Vascular Regeneration by Autologous Bone Marrow Cells	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	151
67	Akita Sadanori,Akino Kozo,Ohtsuru Akira,Yamashita Shun-ichi. et. al.	Proposed Regeneration Therapy for Cutaneous Radiation Injuries	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	150
68	Herald D Doerr. et. al.	Radiation Emergency Medical Preparedness and Network in Germany	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	149
69	Christoph Reiners,Yuri E Demidchik,Valentina Drozd. et. al.	Follow-up of Thyroid Cancer Patients from Belarus after Radioactive Iodine Therapy	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	148
70	Yuri Demidchik	Clinical Characteristics and Future Trends of Thyroid Cancer in Belarus	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	146-147
71	Takamura Noboru,Yamashita Shun-ichi	Chernobyl Telemedicine Project	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	145
72	Horst Zitzelsberger,Gerhard Jackl,Geraldine Thomas. et. al.	Gene Rearrangements in Post-Chernobyl Thyroid Tumours	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	144
73	Ito Masahiro	Chernobyl Tissue Bank Project: Pathology Review	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	143
74	Vladimir Saenko,Yamashita Shun-ichi	Chernobyl Thyroid Cancer Research	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	142

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
75	Elisabeth Cardis	Cancer Effects from Chernobyl? 20 Years After	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	141
76	Yamashita Shun-ichi	Report of Health Effects of the Chernobyl Accident	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-06	51	4	139-140
77	ROMANENKO Alina M., MORIMURA Keiichirou, KINOSHITA Anna, WANIBUCHI Hideki, TAKAHASHI Satoru, ZAPARIN Wadim K., VINNICHENKO Wladimir I., VOZIANOV Alexander F., FUKUSHIMA	Upregulation of fibroblast growth factor receptor 3 and epidermal growth factor receptors, in association with Raf-1, in urothelial dysplasia and carcinoma in situ after the Chernobyl accident	Cancer science	13479032		#####	97	11	1168-1174
78	元春 洋輔, 山下 俊一, Vladimir Bebeskko	一般演題 21 旧ソ連邦におけるヨード充足状況について	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-06	81		285-287
79	柴田 義貞	特別講演 チェルノブイリ原子力発電所事故から20年 - 人体影響はどこまで明らかされたか -	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-06	81		149-156
80	佐田 務	チェルノブイリや臨界事故で言及される原子力 : 高校教科書にみる原子力関連記述	日本原子力学会誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	47120	日本原子力学会	2006/8/30	48	8	563-570
81	三上 智	「規制科学ダイアログ・セミナー : チェルノブイリ事故の影響を考える」印象記	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-06	41	2	66-67
82	田中 靖政	原子力コミュニケーション III 高レベル放射性廃棄物管理の取り組み方を考える : ヨーロッパにおける原子力コミュニケーションと原子力コミュニケーターの視点	学習院大学法学会雑誌	13417444	学習院大学	Mar-06	41	2	1-45
83	ROMANENKO Alina, MORIMURA Keiichirou, KINOSHITA Anna, WANIBUCHI Hideki, VOZIANOV Alexander, FUKUSHIMA Shoji	Aberrant expression of E-cadherin and $\beta$ -catenin in association with transforming growth factor- $\beta$ 1 in urinary bladder lesions in humans after the Chernobyl accident	Cancer science	13479032		2006/1/10	97	1	45-50
84	SHIRAISHI K	Dietary iodine intake in residents of Northwestern regions of Ukraine contaminated by the Chernobyl	Health Phys			2006	90		11-15
85	七沢 潔	ドキュメント チェルノブイリ20年 危うい分岐点を歩いて(第1回)忘れられた英雄	世界	5824532	岩波書店	Dec-06		759	262-270
86	山田 清彦	チェルノブイリ原発事故20年 - 人体への影響評価は未解明 (特集 原発に未来はない!)	アジェンダ		アジェンダ・プロジェクト	2006		14	58-65, 図巻頭4p
87	佐藤 啓子	「チェルノブイリ」を乗り越えた愛 - 被ばく児童ジマと里親の一四年のあゆみ (特集 となりの国ロシアを探る)	歴史地理教育	2881535	歴史教育者協議会	Oct-06		705	22-27,5
88	長瀧 重信	エネルギーを考える会 勉強会からチェルノブイリ原発事故 - 20年間の健康影響調査のまとめ [含 質疑応答]	エネルギー - いんふおめいしょん		エネルギーを考える会	Jun-06	30	5	40598

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
89	佐藤 幸男	チェルノブイリ原発事故による先天異常と遺伝的影響の兆し—チェルノブイリ・フォーラムの姿勢を問う	原子力資料情報室通信		原子力資料情報室	2006/9/1		387	40706
90	綿貫 礼子,吉田 由布子	チェルノブイリ20周年 事故後生まれの「子ども健康研究」報告	原子力資料情報室通信		原子力資料情報室	2006/9/1		387	1-5
91	樋口 洋	異国の空の下(12)IAEA査察官旅行記(2)ウクライナ編(1)チェルノブイリから20	核物質管理センターニュース		核物質管理センター企画部	Aug-06	35	8	9-11
92	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故20年(2)被曝と健康被害の大きさ	環境監視	13436848	南労会・環境監視研究所	Aug-06		110	6-10
93	今中 哲二	事故発生から二〇年 チェルノブイリ事故の被害調査に終わりはない(環境事故が危ない)	理戦		実践社	2006			170-185
94	石川 秀高	大きな成果を残した我が国のチェルノブイリ研究とシェルターの現状	原子力eye	13433563	日刊工業出版プロダクション	Sep-06	52	9	76-79
95	今中 哲二	チェルノブイリ事故による死者の数	原子力資料情報室通信		原子力資料情報室	2006/8/1		386	8-11
96	小笠原 公子	チェルノブイリ原発事故20周年と六ヶ所村	福音と世界		新教出版社	Aug-06	61	8	48-55
97	鎌倉 英也	ドキュメンタリー・カメラの背後(7)ゲンナの類に「雨」が降る—チェルノブイリ汚染地域を旅したクルー	前夜 第1期		前夜	2006		8	198-205
98	森住 卓	グラビア 20年目のチェルノブイリ	前衛	13425013	日本共産党中央委員会	Aug-06			5-12,231
99	逢坂 重良	「チェルノブイリ原発事故」20年と六ヶ所「核燃サイクル基地」との闘い	国労文化		国鉄労働組合教宣部	2006		485	2-7
100	品川 信良	話題提供 放射線被曝、健康、医療などの面からみた「チェルノブイリ20年」	セミナー医療と社会	9196633	セミナー医療と社会	Jun-06		29	89-105
101	西尾 漢	チェルノブイリ20年と脱原発への道	軍縮問題資料	2870177	軍縮市民の会・軍縮研究室	Aug-06		309	64-69
102	高田 純	チェルノブイリ原子力発電所事故から20年—核災害についての—科学者の見	原子力eye	13433563	日刊工業出版プロダクション	Jul-06	52	7	27-29
103	広河 隆一	グラビア チェルノブイリ20年目の悲劇	季刊軍縮地球市民		明治大学軍縮平和研究所	2006		5	図巻頭4p
104	田口 ランディ	ロング・インタビュー 広島、長崎、チェルノブイリ—被爆マリア像が見つめる現代	本の話		文芸春秋	Jun-06	12	6	2-6
105	森本 宏	チェルノブイリ事故から20年(終)	消防通信	9170987	消防通信社	May-06	33	5	25-27
106		社説 大惨事が起きたら(チェルノブイリ原発事故を中心に)	消防通信	9170987	消防通信社	May-06	33	5	2-5
107	城 大空,村上 知彦,森田 直子	チェルノブイリ周辺地区における体内被曝線量評価(第46回原子爆弾後障害研究会)	広島医学	3675904	広島医学会	2006	59	4	389-391
108	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故20年(1)何がおきたのか	環境監視	13436848	南労会・環境監視研究所	Jun-06		109	1-5
109	佐藤 俊彰	チェルノブイリの今 事故から20年の節目	エネルギーレビュー	2892804	エネルギーレビューセンター	May-06	26	5	44-48

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
110	森本 宏	チェルノブイリ事故から20年(1)	消防通信	9170987	消防通信社	Apr-06	33	4	19-21
111	森住 卓	20年後のチェルノブイリ	地上	9137815	家の光協会	Jun-06	60	6	8-10
112	今中 哲二	フォーラム 現代の被曝(第4回)チェルノブイリ原発事故の「死者の数」と想像力	科学	227625	岩波書店	May-06	76	5	538-540
113		地域を支える(533)チェルノブイリへのかけはし(NPO法人・札幌市)ベラルーシの子供たちを支援	厚生福祉		時事通信社	2006/5/26		5377	11
114	ストーン リチャード	特集 事故から20年 チェルノブイリの今	ナショナルジオグラフィック	13408399	日経ナショナルジオグラフィック社	Apr-06	12	4	122-143
115		PICTURE POWER 放射能汚染の町チェルノブイリは今	ニューズウィーク	9122001	阪急コミュニケーションズ	2006/5/3	21	18	92-95
116	山口 舞子	チェルノブイリ事故とその後の20年 日本が原発と「心中」する日	金曜日		金曜日	2006/4/21	14	16	28-32
117	恩田 勝亘	現地特派 チェルノブイリ、4号炉からの報告	週刊現代		講談社	2006/5/6	48	17	46-49
118		チェルノブイリ20年—事故影響の過小評価を貫くIAEAなど原子力推進勢力に現地から怒りの声	原子力資料情報室通信		原子力資料情報室	2006/4/1		382	1-4
119	鎌田 實	いま世界で つながりの中で生きる人間—チェルノブイリから20年	婦人之友		婦人之友社	Apr-06	100	4	60-63
120	今中 哲二	チェルノブイリからの放射能汚染によりスウェーデンでガンが増えている?	原子力資料情報室通信		原子力資料情報室	2006/3/1		381	7-10
121	渡部 行	チェルノブイリ原発事故の真実—直接死亡は47人、甲状腺がん死は9人 世界的な原発再評価のなかで	正論		産経新聞社	May-06			306-314
122		クローズアップNGO・NPO 特定非営利活動法人 チェルノブイリへのかけはし—心のトビラを開く	自治体国際化フォーラム		自治体国際化協会	Mar-06	197		52-55
123	重松 逸造	徹底分析 20年目を迎えるチェルノブイリ事故の真相—国連フォーラム報告か	エネルギーレビュー	2892804	エネルギーレビューセンター	Feb-06	26	2	40-43
124	KO Susumu,SHIRAISHI Kunio,SAHOO Sarata K.,ARAE Hideki,AYAMA Kyoko,LOS Ivan P.,KORZUN Vitarly N.,TSIGANKOV Nikolay	Dietary intakes of Sr, Cs, <sup>232</sup> Th and <sup>238</sup> U in north Ukraine, polluted by the Chernobyl accident	Biomedical research on trace elements	0916717X	日本微量元素学会	#####	16	4	311-314
125	SHIRAISHI Kunio,KO Susumu,SAHOO Sarata Kumar,ARAE Hideki,AYAMA Kyoko,ZAMOSTYAN Pavlo V.,TSIGANKOV Nikolay Y.,LOS Ivan	Dietary mineral intakes for Ukrainian subjects living areas contaminated by the Chernobyl accident	Biomedical research on trace elements	0916717X	日本微量元素学会	#####	16	4	306-310
126	TAGAMI Keiko,UCHIDA Shigeo	Soil-to-Plant Transfer Factors of Technetium-99 for Various Plants Collected in the Chernobyl Area	Journal of nuclear and radiochemical	13454749		#####	6	3	261-264
127	Takamura Noboru,Yamashita Shun-ichi	Medical Cooperative Projects: from Nagasaki to Chernobyl and	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-05	50	1	11-13



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
128	TERADA Hiroaki, CHINO Masamichi	Improvement of Worldwide Version of System for Prediction of Environmental Emergency Dose Information (WSPEEDI), (II) : Evaluation of Numerical Models by $^{137}\text{Cs}$ Deposition due to the Chernobyl	Journal of nuclear science and technology	223131	社団法人 日本原子力学会	2005/7/25	42	7	651-660
129	Takamura Noboru	New Concept of eHealth for Improving Medical Infrastructure around	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Jun-05	50	2	45-48
130	小池 健一	チェルノブイリ原発事故後のベラルーシ共和国に対する医療協力	日本産婦人科・新生児血液学会誌 = The Japanese journal of obstetrical, gynecological & neonatal hematology	9168796		2005/3/1	14	2	68-75
131	中村 政雄	徹底分析 誤った情報が事故を拡大—チェルノブイリ20年国連報告 欧米に比べ日本は報道なし	エネルギーレビュー	2892804	エネルギーレビューセンター	Dec-05	25	12	38-40
132		「原子力発電」最前線を行く(56)チェルノブイリ事故「報告書」公表の波紋	月刊テミス		テミス	Dec-05	14	12	88-89
133	尾崎 正直	科学の眼・時代の鏡(44)チェルノブイリ事故20年目の“真実”	通信協会雑誌	18806686	通信協会	Nov-05			30-33
134	平良 愛香, 臼井 一美	チェルノブイリ・スタディーツアー報告 現地に身を置くことで得られる「何か」	福音と世界		新教出版社	Sep-05	60	9	21-23
135	シチェルバク ユーリー, 竹内 高明	チェルノブイリ—文明への警告	技術と人間	2855186	技術と人間	May-05	34	4	8-30
136	末田 一秀	放射性廃棄物のスソ切り処分の悪法案(特集 チェルノブイリ事故から19年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-05	34	3	46-55
137	本田 正	幌延はいま/深地層研究所計画の現状(特集 チェルノブイリ事故から19年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-05	34	3	38-45
138	河田 昌東	チェルノブイリの一九年と私たちの救援活動をふり返って(特集 チェルノブイリ事故から19年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-05	34	3	24-36
139		特集 チェルノブイリ事故から19年	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-05	34	3	24-55
140	TRONKO M	Iodine excretion regions of Ukraine affected by the Chernobyl accident : experience of the Ukrainian-American cohort study of thyroid cancer and other thyroid diseases	Thyroid			2005	15		1291-1297
141	SEVAN'KAEV A. V.	A cytogenetic follow-up of some highly irradiated victims of the Chernobyl accident	Radiat. Prot. Dosim.			2005	113		152-161
142	山下 俊一	甲状腺がんの基礎と臨床 : チェルノブイリの教訓	日本内分泌学会雑誌	290661		#####	80	3	580

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
143	寺田 宏明,茅野 政道	C163 広域原子力事故時の大気拡散予測モデルMM5/GEARNのチェルノブイリデータによる性能評価(物質循環II)	大会講演予講集		社団法人日本気象学会	Oct-04	86		231
144	福永 真人,I Sedliarou,N Kryshenko	一般演題 2 チェルノブイリ周辺地区における結核罹患率の推移:「放射線恐怖症の実態」	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-04	79		159-161
145	IVANOV Victor,ILYIN Leonid,GORSKI Anton,TUKOV Alexander,NAUMENKO Roman	Radiation and Epidemiological Analysis for Solid Cancer Incidence among Nuclear Workers Who Participated in Recovery Operations Following the Accident at the Chernobyl NPP	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-04	45	1	41-44
146	IVANNIKOV A. I.	Dose reconstruction by EPR spectroscopy of tooth enamel : application to the population of Zaborie village exposed to high radioactive contamination after the Chernobyl accident	Health Phys.			2004	86		121-134
147	BAILIFF I. K.	Comparison of retrospective luminescence dosimetry with computational modelling in two highly contaminated settlements downwind of the Chernobyl NPP	Health Phys.			2004	86		25-41
148	今村 修	特集 原発事故から18年目のチェルノブイリとアウシュビッツを訪ねて	社会民主	13420615	社会民主党全国連合機関紙宣伝局	Dec-04		595	20-23
149	肥田 舜太郎	ヒパクシャを見守って58年 チェルノブイリと日本の乳癌	社会運動	3892670	市民セクター-政策機構	Nov-04			39-45
150	康 玲子	時代の曲がり角で(3)チェルノブイリを忘れない(特集 これからのエネルギー)	アジェンダ		アジェンダ・プロジェクト	2004		6	64-67
151	長瀧 重信	学術/グラフ 放射線の健康影響—広島・長崎、チェルノブイリ、そしてJCO< 於・内科懇話会>〔含 交見〕	日本医事新報	3859215	日本医事新報社	2004/10/2		4197	1-14,33~36
152	吉富 信夫	金正日のなりふりかまわぬ延命策〔含コラム 北朝鮮のチェルノブイリ〕	新世紀	13447904	解放社	Sep-04			72-83
153	堀本 秀生	なぜ被曝者は被害住民にならないか—「原賠法」の正体(特集/チェルノブイリから十八年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-04	33	3	30-35
154	矢野 宏和	移動検診車「雪だるま号」の車窓から見たチェルノブイリ支援活動(特集/チェルノブイリから十八年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-04	33	3	24-29
155	高橋 昇	事故の教訓はいかされているか(特集/チェルノブイリから十八年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-04	33	3	16-23
156		特集/チェルノブイリから十八年	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-04	33	3	16-35
157	鍊石 和男	チェルノブイリ原発事故後の心のケア活動	心と社会	232807	日本精神衛生会	2004	35	1	44-51

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
158	綿貫 礼子,吉田 由布子	環境汚染地域の子どもたち(第5回)誕生前に子宮内で曝露をうけたチェルノブイリの子どもたち	科学	227625	岩波書店	Feb-04	74	2	249-259
159	鎌田 實	特別寄稿「がんばらない」けど「あきらめない」--日本とチェルノブイリで命に寄りそって	公衆衛生	3685187	医学書院	Jan-04	68	1	42-45
160	綿貫 礼子,吉田 由布子	環境汚染地域の子どもたち(4)「国際チェルノブイリ子ども会議」開催の意味	科学	227625	岩波書店	Jan-04	74	1	131-137
161	DAVIS S.	Risk of thyroid cancer in the Bryansk Oblast of the Russian Federation after the Chernobyl Power Station accident	Radiat. Res			2004	162		241-248
162	SLEBOS R. J.	Mini and microsatellite mutations in children from Chernobyl accident cleanup workers	Mutat. Res.			2004	559		143-151
163	MATSUNAGA T	Association of dissolved radionuclides released by the Chernobyl accident with colloidal materials in surface water	Appl Geochem			2004	19		1581-1599
164	FURITSU Katsumi,RYO Haruko,ELISSEEVA Klavdiya,FUKUDOME Yuko,KRUPNOVA Evelina,SMIRNOVA Lioudmila,NAKAJIMA Hiroo,NOMURA Taisei	135 Transgenerational Mutations in the Children of the Liquidators Who Worked for the Chernobyl Nuclear Power Plant Accident(Effects of radiation exposures, Abstracts of the 46th Annual Meeting of the Japan Radiation	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	#####	44	4	420
165	ZAGUROVSKAYA MARIANNA,TAKAMURA NOBORU,SLESAREV	Benign Thyroid Diseases among Chernobyl Liquidators	Endocrine journal	9188959		2003/12/1	50	6	837-838
166	小池 健一,小宮山 淳,滝沢 正臣,中井 圭司,村瀬 澄夫,神谷 さだ子,鎌田 實,アレニコワ オリガ・ビテリエブナ,ボガチェンコ ミハエル	多施設国際遠隔医療ネットワークを用いたチェルノブイリ原発事故後のベラルーシ共和国に対する医療支援	医学物理：日本医学物理学会機関誌 = Japanese journal of medical physics : an official journal of Japan Society of Medical Physics	13455354	日本医学物理学会	2003/3/31	23	1	44-50
167	綿貫 礼子,吉田 由布子	環境汚染地域の子どもたち(2)チェルノブイリの子どもが示唆する人類の未来	科学	227625	岩波書店	Nov-03	73	11	1246-1256
168	KIURU A.	Heredity minisatellite mutations among the offspring of Estonian Chernobyl cleanup workers	Radiat. Res.			2003	159		651-655
169	綿貫 礼子,吉田 由布子	環境汚染地域の子どもたち(3)チェルノブイリの子どもが示唆する人類の未来	科学	227625	岩波書店	Dec-03	73	12	1382-1391
170	今中 哲二	チェルノブイリ事故の影響評価研究の現状	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-03	32	3	74-87
171	グロスマン カール	NASAと原子力--宇宙のチェルノブイリ・ルーレット	軍縮問題資料	2870177	宇都宮軍縮研究室	Apr-03		270	48-55

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
172	広河 隆一	チェルノブイリ原発に入る--いま再び始まる静かな恐怖	金曜日		金曜日	2003/2/28	11	8	30-37
173	今中 哲二,小出 裕章,小林 圭二	ベラルーシ、ウクライナ、ロシアにおけるチェルノブイリ原発事故研究の現状調査報告(第37回京都大学原子炉実験所学術講演会)	京都大学原子炉実験所学術講演会報文集	9171746	京都大学原子炉実験所	Jan-03	37		150-155
174	Takeichi N	9 THYROID CANCER IN CHILDREN INDUCEB BY RADIATION EFFECT : FROM THE STUDIES IN HIROSHIMA, SEMIPALATINSK AND CHERNOBYL	Clinical pediatric endocrinology	9185739	日本小児内分泌学会	Dec-02	11	2	103
175	NAKASHIMA Masahiro,Meirmanov Serik,Saenko Vladimir,Rogounovitch Tatiana,Ito Masahiro,Yamashita Shunnichi,Sekine Ichiro	Cyclin D1 overexpression in Thyroid Tumors in the Radio-contaminated area after the Chernobyl accident, and its Relations with Aberrant betacatenin and Pin1 expression	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-02	43	4	468
176	YOSHIDA Satoshi,MURAMATSU Yasuyuki,LINKOV Igor,DVORNIK Alexander,ZHUCHENKO Tatiana	Behavior of Radiocesium and Stable Cesium in Forest Ecosystems in Chernobyl 30 km Zone	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-02	43	4	465
177	IMANAKA Tetsuji,WATANABE Mikiko,HIRANO Shinichiro	Research Activities about the Chernobyl NPP Accident in Belarus, Ukraine and Russia	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-02	43	4	465
178	駒村 美佐子,津村 昭人,木方 展治,小平 潔	国産小麦の <sup>90</sup> Srおよび <sup>137</sup> Cs汚染に関する長期観測と解析：1959年以来チェルノブイリ事故を含む37年間	Radioisotopes	338303	日本アイソトープ協会	2002/9/15	51	9	345-363
179	大垣 昌弘	クロレラ・ブルガリスE-25の特性とチェルノブイリ原発事故処理作業員に対する健康効果	Isotope news	2855518		2002/9/1	581		5-7
180	成毛 有紀,中島 正洋,メイルマノフ セリック,サエンコ ウラジミル,ログノヴィツチ タチアナ,伊東 正博,山下 俊一,関根	一般演題 25 チェルノブイリ原発事故汚染地域Obninskにみられた甲状腺腫瘍におけるWnt伝達経路とPin1の発現の	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-02	77		298-300
181	伊東 正博,山下 俊一,Abroshimov S,Bogdanova T,LiVolsi V,Rosai J,Sidrov Y,Thomas G,Williams ED	一般演題 22 チェルノブイリ原発事故後甲状腺がん組織バンク(NISCTB)の活動状況	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-02	77		289-291
182	柴田 義貞,Vladimir B Masyakin,Galina D Panasyuk,高村 昇,山下 俊一	一般演題 21 チェルノブイリ周辺の小児甲状腺疾患	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-02	77		284-288
183	大畑 勉	チェルノブイリ事故から16年を経て：放射性エアロゾルからみたチェルノブイリ	空気清浄	235032	日本空気清浄協会	2002/7/31	40	2	30-35
184	伊東 正博,山下 俊一,ABROSHIMOV S,BOGDANOVA T,LIVOLSI V,ROSAI J,SIDROV Y,THOMAS G,WILLIAMS Ed	国際共同チェルノブイリ原発事故後甲状腺がん組織登録の活動状況	ホルモンと臨床	457167		2002/6/25	50		85-89
185	松永 武,長尾 誠也	チェルノブイリ事故と水環境の放射能汚染	水環境学会誌 = Journal of Japan Society on Water Environment	9168958	日本水環境学会	2002/4/10	25	4	193-197

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
186	結田 康一,駒村 美佐子,木方 展治,藤原 英司,栗島 克明	原子力施設事故等に伴う農作物・土壌の緊急放射能調査:チェルノブイリ原発事故と東海村臨界事故への対応を	日本土壤肥料学雑誌	290610	社団法人日本土壤肥料学会	2002/4/5	73	2	203-210
187	菅谷 昭	国際医療協力:チェルノブイリ原発事故被災地での経験	日本外科学会雑誌	3014894	社団法人日本外科学会	2002/3/10	103		24
188	Geraskin Stanislav A.,Dikarev Vladimir G.,Zyablitskaya Yevgenia Ya.	事故後の数年においてチェルノブイリ地域で観察された農作物に対する放射線の細胞遺伝学的影響	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			287-296
189	Bezdrobna Larysa,Tsyganok Tetyana,Romanova Olena	チェルノブイリ原発30km圏無人ゾーン居住者の血液リンパ球染色体異常	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			277-286
190	Slozina Natalia M.,Neronova Elizaveta G.	チェルノブイリ事故処理作業における染色体異常の追跡調査	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			268-276
191	Snigiryova Galina,Shevchenko Vladimir	放射線被曝事故によるヒトリンパ球染色体異常の解析	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			256-267
192	Malko Mikhail V.	チェルノブイリ事故によるベラルーシでの甲状腺ガン	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			240-255
193	Arynchn Alexander N.,Avhacheva Tatiana V.,Gres Nika A.	チェルノブイリ事故に被災したベラルーシの子供たちの健康状態:事故から16	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			231-239
194	Nyagu Angelina I.,Loganovsky Konstantin N.,Loganovskaya Tatiana K.	チェルノブイリ事故によって胎内で急性被曝を受けた子供たちの知性と脳障害	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			202-230
195	Prysyazhnyuk Anatoly Ye.,Grishtshenko Volodymir G.,Fedorenko Zoya P.	チェルノブイリ事故によるウクライナ住民への医学的影響研究によって得られた疫学的知見	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			188-201
196	Maksioutov Marat M.	ロシア全国医学被曝登録に基づく疫学研究:チェルノブイリ事故処理作業に観察されたガン影響と非ガン影響	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			168-187
197	Knatko Vladimir A.,Dorozhok Inga N.	ヨウ素131吸入によるベラルーシ汚染地域住民の甲状腺被曝量	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			160-167
198	Knatko Vladimir A.,Komochkov Mikhail M.,Yanush Alla E.	ベラルーシの汚染地域住民に対する放射線リスクの評価	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			152-159
199	Ivannikov Alexandre I.,Skvortsov Valeri G.,Stepanenko Valeri F.	ロシアの放射能汚染地域住民の菌エナメルEPR測定を用いた遡及的被曝量評	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			142-151
200	Chumak Vadim	チェルノブイリ事故処理作業従事者のEPRによる被曝量評価	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			123-141
201	Ryabov Igor N.	チェルノブイリ周辺における魚の放射能汚染の長期的観察	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			112-122
202	Matsko Vladimir P.,今中 哲二	ベラルーシ食品中のチェルノブイリ事故由来の放射性物質濃度	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			103-111
203	Tykhyy Volodymyr	ウクライナ・ジトーミル州ステパニフカ村の食品放射能汚染:1992年と2001年	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			97-102
204	Stepanenko Valery F.,Parshkov Evgeny M.,Sokolov Viktor A.	ロシアの汚染地域におけるヨウ素131汚染、甲状腺被曝量、甲状腺ガン	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			86-96
205	Nasvit Oleg	チェルノブイリ原発冷却池における放射能生態系の現状	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			74-85
206	Gaydar Alexander,Nasvit Oleg	チェルノブイリ原発周辺地域における放射能汚染の解析	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			59-73

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
207	Pavlovych Volodymyr M.	崩壊したチェルノブイリ4号炉内の核燃料	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			45-58
208	Gorbachev Boris I.	チェルノブイリ原発事故の原因とシナリオ、ならびに敷地周辺への放射能放出	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			28-44
209	Malko Mikhail V.	チェルノブイリ型原発:その特徴と事故原因	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			11-27
210	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による放射能影響に関する最近のトピックス	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			1-10
211		チェルノブイリ原発事故に関するベラルーシ、ウクライナ、ロシアでの最近の研究状況	KURRI-KR	13420852	京都大学原子炉実験所	Jul-02			1-306,巻頭1~2
212	熊沢 紀之,小澤 達也,Sergeyev V. G.	チェルノブイリ原子力発電所事故の化学処理法の東海村への適用(東海村臨界事故と地域社会)--(防災・避難と救	茨城大学地域総合研究所年報	3882950	茨城大学地域総合研究所	Mar-02			69-75
213	武部 啓	特別記事 チェルノブイリ事故と現在までの放射線人体影響	原子力eye	13433563	日刊工業出版プロダクション	Aug-02	48	8	36-39
214	広河 隆一	チェルノブイリの青春	金曜日		金曜日	#####	10	39	34-39
215	Aleksievich Svetlana,松本 妙子	悪の教唆--9月11日からチェルノブイリへ	世界	5824532	岩波書店	Dec-02		708	35-37
216	笹田 隆志	チェルノブイリ紀行	社会主義	9120602	社会主義協会	Nov-02		479	92-97
217	今中 哲二	水素爆発か核爆発か?--チェルノブイリ原発4号炉爆発の正体	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-02	31	6	78-91
218	藤井 晴雄	藤井晴雄の情報探索術(5)事例研究編(その3)チェルノブイリ原発事故を調べる--ギブ&テイクで情報量を増やす	エネルギー	2855437	日エフォーラム社	Dec-02	35	12	102-106
219	菅谷 昭	チェルノブイリで小児甲状腺癌の治療に携わって	ユ-ラシア研究		ユ-ラシア研究所	May-02		26	49-54
220	佐藤 一男,安藤 正樹,平野 雅司	チェルノブイリ事故から15年--私たちが学んだこと(特集 チェルノブイリ事故から私たちが学んだこと)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	2002	44	2	161-201
221	佐藤一男	特集 チェルノブイリ事故から私たちが学んだこと	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	2002	44	2	154-201
222	木下 昌明	見えるもの・見えないもの--映画『アレクセイと泉』について(特集 一六年目のチェルノブイリ)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-02	31	4	48-53
223	河田 昌東	「アレクセイと泉」上映に寄せて(特集 一六年目のチェルノブイリ)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-02	31	4	45-47
224	河田 昌東	チェルノブイリ原発事故と私たちの二年(特集 一六年目のチェルノブイリ)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-02	31	4	34-44
225	小出 裕章	原子力発電所で大事故は起きるか?(特集 一六年目のチェルノブイリ)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-02	31	4	22-33
226	今中 哲二	運転員はなぜAZ5ボタンを押したか?--チェルノブイリ原発事故の暴走プロセス(特集 一六年目のチェルノブイリ)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-02	31	4	10-20

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
227		特集 一六年目のチェルノブイリ	技術と人間	2855186	技術と人間	May-02	31	4	10-53
228	レベコ ビクトル,高橋 昇	チェルノブイリを忘れる?……とんでもない!	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-02	31	3	22-25
229	羽田野 祐子	環境汚染のフラクタル解析--チェルノブイリでの放射性エアロゾルの長期挙動(特集 熱流体におけるカオス・フラクタル)--(トビックス フラクタル)	機械の研究	3685713	養賢堂	Jan-02	54	1	216-221
230	DUBROVA Y. E.	Elevated minisatellite mutation rate in the post-Chernobyl families from	Am. J. Hum. Genet.			2002	71		801-809
231	ROMANENKO A	DNA damage repair in bladder urothelium after the Chernobyl	J Urol			2002	168		973-977
232	天野 光	チェルノブイリ事故炉周辺環境における長半減期放射性核種の分布と挙動	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	2001/12/1	36	4	314-321
233	天野 光,本間 俊充,長岡 鋭	原研におけるチェルノブイリ研究協力	保健物理 : hoken buturi	3676110		2001/12/1	36	4	296
234	SAHOO Sarata,SHIRAIISHI Kunio,YONEHARA Hidenori,KIMURA Shinzo,WATANABE Yoshito,LOS Ivan,ZAMOSTYAN Pavlo	Accurate determination of uranium isotope ratios in soil samples affected due to Chernobyl accident using thermal ionisation mass spectrometry	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-01	42	4	475
235	YAMASHITA Shunichi	International Cooperation of Chernobyl Thyroid Tissue Bank	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Dec-01	42	4	420
236	ISHIGAKI Katsu,NAMBA Hiroyuki,TAKAMURA Noboru,SAIWA Hirokazu,PARSHIN Vladimir,OHASHI Toshinori,KANEMATSU Takashi,YAMASHITA Shunichi	Urinary Iodine Levels and Thyroid Diseases in Children; Comparison between Nagasaki and Chernobyl	Endocrine journal	9188959		Oct-01	48	5	591-595
237	Cho J.Y.,Ishizuka B.,Lee G.H.,Kim H.S.	Provincial (Chunchon, Korea), project-study of the physiological and psychological effect of jade field on radiation exposed children from Chernobyl, Ukraine	Congenital anomalies	9143505	日本先天異常学会	Sep-01	41	3	253-254
238	高橋 知之,本間 俊充	チェルノブイリ原子力発電所近傍モニタリングデータを用いた <sup>137</sup> Csの外部被ばく線量評価パラメータの土質による差異に関する検討	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-01	36	2	111-121
239	夏目 武	チェルノブイリ原発事故の教訓	日本信頼性学会誌 : 信頼性	9192697	日本信頼性学会	2001/3/25	23	2	210
240	ROSNER G.	Long-term variation (1986-1998) of post-Chernobyl <sup>90</sup> Sr, <sup>137</sup> Cs, <sup>238</sup> Pu and <sup>239,240</sup> Pu concentrations in air, depositions to ground, resuspension factors and resuspension rates in south Germany	Sci. Total Environ.			2001	273		11-25

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
241	LIVSHITS L. A.	Children of Chernobyl cleanup workers do not show elevated rates of mutations in minisatellite alleles	Radiat. Res.			2001	155		74-80
242	岩崎 民子	チェルノブイリ事故15年後の健康影響	日本女性科学者の会学術年報	13464256	日本女性科学者の会	2001	2	1	35-41
243	矢野 宏和	ストーリーンでの四年間---チェルノブイリ支援運動のあゆみ	アクティブ		向陽舎	2001/4/30		1	106-114
244	辻 秀雄	よみがえるHuman Theater(11)職を投げうち、退職金をつぎ込んで、チェルノブイリ被災地の医療支援活動に従事---医師 菅谷昭さん	よみがえる		経済界	Oct-01	13	11	44-48
245	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故とその放射能災害の概要 (特集 ロシアと旧ソ連地域の環境問題)	ロシア研究	9187030	日本国際問題研究所	Oct-01		33	79-99
246	鎌田 慧	海のチェルノブイリ---核実験と海底投棄の波紋 (特集 水底のミステリー---沈んだ謎を引き揚げろ)	Front	13471848	リバーフロント整備センター	Feb-01	13	5	32-34
247	本橋 成一	気ままにトーク(11)本橋成一さん(写真家・映画監督)---チェルノブイリを撮る	ひろばユニオン		労働者学習センター	Nov-01		477	62-64
248		大事故直前のチェルノブイリの全容を再現 (エネルギー特集 クリーンエネルギーに徹底する電力業界の今)	エルエー	13435183	国際評論社	Sep-01	38	12	52-55
249	舟橋 喜恵	なにか変だ---事故のはじまり (チェルノブイリ被害者交流)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-01		19	62-65
250	三好 典子	チェルノブイリ被災者聞き取り調査 (チェルノブイリ被害者交流)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-01		19	58-62
251		チェルノブイリ被害者交流	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-01		19	57-65
252	齊藤 紀	チェルノブイリと東海村臨界事故の根幹に潜むもの	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-01		19	53-56
253	神谷 さだ子	チェルノブイリ十五年 新たな風に向かって面を上げる	国際労働運動	2896443	国際労働運動研究協会	Apr-01	31	4	40-47
254	竹内 敬二	環境の新しい風(7)沈黙のにぎわい、チェルノブイリ	グリーン・パワー	3890988	森林文化協会	Jul-01			16-17
255	広河 隆一、坪井 賢一	編集長インタビュー(393)チェルノブイリ子ども基金代表、フォト・ジャーナリスト・広河隆一 チェルノブイリ事故から15年まだ増えている原発被災者の実態	週刊ダイヤモンド		ダイヤモンド社	2001/4/21	89	16	138-140
256	松田 和憲	チェルノブイリ原発資料館を訪ねて	科学/人間	2885387	関東学院大学工学部教養科	Mar-01		30	189-196
257		特集 原研におけるチェルノブイリ研究協力	保健物理	3676110	日本保健物理学会	Dec-01	36	4	296-322
258		グラフィックスで見る世界 チェルノブイリ原発が全面閉鎖	世界週報	9110003	時事通信社	2001/1/16	82	2	81
259	鎌田 實	がんばらない あきらめない(2)家族ってなんだろう(2)チェルノブイリで考えたこと	青春と読書		集英社	Jun-01	36	6	54-59



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ	
260		原発と漁業の共存は可能か(307)EUの原子力開発へ大きな影響を与えるーチェルノブイリ事故から15年	水産界	394866	大日本水産会	Apr-01		1395	64-67	
261	三上 鍊子	投稿 チェルノブイリから一五年(下)子どもたちへのメッセージ	教育	3869938	国土社	Jun-01	51	6	115-124	
262	三上 鍊子	投稿 チェルノブイリから一五年(上)子どもたちへのメッセージ	教育	3869938	国土社	May-01	51	5	111-118	
263	エールケ ミハヤエル,柴山 健太郎	欧州農業のチェルノブイリ	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-01	30	3	56-66	
264	高橋 昇	生かされていない大惨事(チェルノブイリ)の経験	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-01	30	3	16-23	
265	見上 寿	海外事情 チェルノブイリ訪問記	FAPIG	145645	第一原子力産業グループ事務局	Mar-01		157	3-9	
266	ISHIGAKI K	Urinary iodine levels and thyroid disease in children; Comparison between Nagasaki and Chernobyl	Endocr J			2001	48		591-595	
267	WEINBERG H. S.	Very high mutation rate in offspring of Chernobyl accident liquidators	Proc. R. Soc. Lond. B. Biol. Sci.			2001	268		1001-1005	
268	NOSHCHENKO A.	Patterns of acute leukaemia occurrence among children in the	Int. J. Epidemiol.			2001	30	1	125-129	
269	SHIBATA Y	15 years after Chernobyl : new evidence of thyroid cancer	Lancet			2001	358		1965-1966	
270	Tagami K.,Uchida S.,Sekine T.	Concentrations of Technetium-99 in Soils and Plants Collected in Forests within the 30-km Zone around Chernobyl Area	CYRIC annual report		東北大学	2001	2001		104-108	
271	鈴木 直之	チェルノブイリ原発 - 3号炉の閉鎖と4号炉(石棺)の今後 -	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	2000/12/1	35	4	513-515	
272	柴田 義貞	A-2 チェルノブイリ事故の健康影響評価における統計的問題(日本統計学会第68回大会記録: 環境汚染の健康影響評価をめぐる統計的諸問題)	日本統計学会誌	3895602	日本統計学会	Dec-00	30	3	357	
273	SHIRAISHI Kunio,MURAMATSU Yasuyuki,SAHOO Sarata Kumar,KIMURA Shinzo,LOS Ivan.P.,KORZUN Vitaly.N.,TSIGANKOV Nikolay.Y.,ZAMOSTYAN Pavlo.V.	Iodine in take for Ukrainian in contaminated areas due to the Chernobyl accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-00	41	4	461	
274	羽田野 裕子,羽田野 直道	チェルノブイリでの放射性エアロゾルの長期挙動と砂漠のバルハンへの応用	沙漠研究 : 日本沙漠学会誌	9176985	日本沙漠学会	#####	10	3	189-197	
275	丸山 久美子	社会的危機問題に関する若干の考察 : 東海村原発事故とチェルノブイリ症候群	一般演題 21 簡易測地キットによる尿中ヨード量の検討;ベラルーシ共和国と日本の比較	長崎醫學會雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	9152539	聖学院大学	2000/9/30	13	1	163-171
276	幸 博和,高村 昇,難波 裕幸,山下 俊一	一般演題 21 簡易測地キットによる尿中ヨード量の検討;ベラルーシ共和国と日本の比較	長崎醫學會雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-00	75		202-206	

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
277	横田 賢一,高村 昇,柴田 義貞	一般演題 20 チェルノブイリ医療支援のための通信基盤に関する報告	長崎医学会雑誌 : Nagasaki Igakkai zasshi	3693228	長崎大学	Sep-00	75		199-201
278	柴田 義貞	チェルノブイリ事故の健康影響評価における統計的問題	日本統計学会講演報告集			2000/7/1	68		254-255
279	相良 彩,藤本 登,守田 幸路	チェルノブイリ原発事故の社会経済的評価に関する研究	九州大学工学集報	232718	九州大学	May-00	73	3	255-261
280	柴田 義貞	放射線の人体影響 : 原爆被爆とチェルノブイリ事故	学校保健研究	3869598	日本学校保健学会	2000/4/20	42	1	15-20
281	ROMANENKO A	Increased oxidative stress with gene alteration in urinary bladder urothelium after the Chernobyl accident	Int J Cancer			2000	86		790-798
282	石井 友恵	チェルノブイリ原子力発電所事故	文献探索		文献探索研究会	2000/2/23			55-58
283	Kovalevskaya L.,北見 康弘	原発は閉鎖されてもチェルノブイリは残る(特集 原発・核・環境問題)	ユ-ラシア研究		ユ-ラシア研究所	Nov-00		23	27-32
284	広河 隆一	忍び寄り死と病気の影(15年目のチェルノブイリ原発)	金曜日		金曜日	2000/5/5	8	16	35-39
285		15年目のチェルノブイリ原発	金曜日		金曜日	2000/5/5	8	16	31-39
286	山本 定明	事故後13年のチェルノブイリ訪問(下)(特集 危険な原子力利用)	軍縮問題資料	2870177	宇都宮軍縮研究室	Jun-00			74-80
287	山本 定明	事故後13年のチェルノブイリ訪問(上)	軍縮問題資料	2870177	宇都宮軍縮研究室	May-00			74-80
288	陳 俊傑,祝 希媛	放射線障害の中医症候学的研究--チェルノブイリ調査	中医臨床	3894843	東洋学術出版社	Mar-00	21	1	108-110
289	グジー ナターシャ	チェルノブイリを忘れないで--ナターシャ・グジーさん	婦人之友		婦人之友社	Oct-00	94	11	98-99,164,165
290	グジー ナターシャ	被災者の心を歌う20歳のウクライナ女性 チェルノブイリを忘れないで	婦人公論		中央公論新社	2000/7/22	85	13	174-177
291	Marignac Yves,橋本 一径	「ル・モンド・ディプロマティック」より チェルノブイリの忘れられた人々	世界	5824532	岩波書店	Oct-00		680	247-252
292	斎藤 紀	チェルノブイリと東海村臨界事故の根幹に潜むもの	住民と自治	13436244	自治体研究社	May-00			46-49
293	金澤 茂	チェルノブイリへの旅	自由と正義	4477480	日本弁護士連合会	Feb-00	51	2	8-10
294	高橋 昇	十四年目のチェルノブイリ	技術と人間	2855186	技術と人間	May-00	29	4	12-31
295	半原 進	原子力報道を考える--チェルノブイリの影響 正確な情報提供が不可欠	エネルギー	2855437	日エフォーラム社	Oct-00	33	10	88-90
296	福田 一義	輸入食品の放射性セシウム濃度とチェルノブイリ原子力発電所事故の寄与	Radioisotopes	338303	日本アイソトープ協会	Sep-00	49	9	433-438
297	KOVALCHUK O.	Wheat mutation rate after Chernobyl	Nature			2000	407		583-584

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
298	山下 俊一	教育講演チェルノブイリ原発事故後の小児甲状腺癌多発について：第39回日本肺癌学会九州支部会	肺癌	3869628	日本肺癌学会	1999/12/1	39	7	1031
299	高橋 知之,本間 俊充	チェルノブイリ原子力発電所近傍の表層土壌中 <sup>137</sup> Cs濃度に関するモニタリングデータを用いた外部被ばく線量評価モデル妥当性の検証	保健物理：hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	1999/12/1	34	4	365-374
300	YOSHIMOTO Yasuhiko,YOSHINAGA Shinji,GORSKI Aanton. I.,MAKSIOUTOV Marat. A.,IVANOV Viktor. K.	The Chernobyl Accident and Thyroid Cancer Risk of Members of the Public (1991-1996):a cooperative joint analysis for the data observed in Bryansk oblast in Russia	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-99	40	4	370
301	AMANO Hikaru	Radioactive Materials as Environmental Additionals -Distribution and Migration of Long lived Radionuclides in Contaminated Area:District around the	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-99	40	4	351
302	馬場 麻里子	チェルノブイリ:虚偽と真実	作業療法 = The Journal of Japanese Occupational Therapy Association	2894920		1999/8/15	18	4	321
303	牧野(羽田野) 祐子	チェルノブイリの放射性エアロゾルの長期挙動	エアロゾル科学・技術研究討論会 = Symposium on Aerosol Science & Technology			1999/7/1	16		142-144
304	武市 宣雄	チェルノブイリ報告、甲状腺検査を中心に	医学検査：日本臨床衛生検査技師会誌 = The Japanese journal of medical technology	9158669		1999/4/25	48	4	352
305	朝野 武美	チェルノブイリ事故から学ぶ放射線影響	Isotope news	2855518		Apr-99	539		91-94
306	ROMANENKO Alina,LEE Chyi Chia R.,YAMAMOTO Shinji,HORI Takaki,WANIBUCHI Hideki,ZAPARIN Wadim,VINNICHENKO Wladimir,VOZIANOV	Urinary Bladder Lesions after the Chernobyl Accident : Immunohistochemical Assessment of p53, Proliferating Cell Nuclear Antigen, Cyclin D1 and p21 <sup>WAF1/Cip1</sup>	Japanese journal of cancer research : gann	9105050		1999/2/28	90	2	144-153
307	YAMAMOTO S.	Specific p53 gene mutations in urinary bladder epithelium after the Chernobyl accident	Cancer Res.			1999	59		3606-3609
308	KASHPAROV V. A.	Kinetics of Fuel Particle Weathering and 90Sr Mobility in the Chernobyl 30-km Exclusion Zone	Health Phys.			1999	76		251-259

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
309	小川 政邦	テレスコープ クローン・マンモスは可能?/アーリア人の格闘技復活/日本のチェルノブイリ/ミレニアムはいつからか	窓	13438018	ナウカ	Dec-99		111	56-61
310	阿部 豊	ロスデストヴェンスキー博士講演要旨-ミル社の消防ヘリコプタおよびチェルノブイリでのヘリコプタ使用	防衛技術ジャーナル	9198555	防衛技術協会	Aug-99	19	8	22-28
311	野村 大成	チェルノブイリ核施設崩壊による微量放射線の生態系におよぼす影響	日産科学振興財団研究報告書	9114572	日産科学振興財団	1999			69-72
312	舟橋 喜恵	リグビダートルたちの経験(キエフ・チェルノブイリ被害者交流)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-99			66-69
313	久保浦 寛人	チェルノブイリ被曝者との交流の旅を終えて(キエフ・チェルノブイリ被害者交	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-99			60-64
314		キエフ・チェルノブイリ被害者交流	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-99			60-69
315	野呂 美加	チェルノブイリへのかけはし	北方圏	0288688X	北方圏センター	Jan-99			34-37
316		チェルノブイリの子どもたちを迎える(特集 今日女性の課題)ー(海を越えて広がる友情)	婦人之友		婦人之友社	Aug-99	93	9	47-49
317		これは“チェルノブイリ”だ 東海村「放射能漏れ」本当の恐怖はここまで広がる!	週刊現代		講談社	#####	41	38	54-55
318	川崎 陽子	ドイツ発:環境ウオッチング-15-いまも続くチェルノブイリ原発事故の影響	産業と環境	2855380	リック社	Aug-99	28	8	58-59
319	広河 隆一	チェルノブイリとどう向きあうのかー私の文章の「正誤表」(七月号掲載)について	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-99	28	7	92-98
320	広河 隆一	映画「ナージャの村」に思うーチェルノブイリをテーマにすること	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-99	28	6	58-71
321		「繰り返さないでチェルノブイリ」の思いをこめてーチェルノブイリ・ヒバクシャ救援関西(特集=チェルノブイリ事故から	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	82-85
322	神尾 京子	募金活動がつなぐ読者とチェルノブイリの子どもたちーチェルノブイリの母子支援募金(特集=チェルノブイリ事故から	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	79-81
323	神谷 さだ子	つづく被災地での医療活動ー日本チェルノブイリ連帯基金(特集=チェルノブイリ事故からー三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	76-78
324	長谷川 弘美	いのちの里親運動ーチェルノブイリの子ども達に・千葉の会(特集=チェルノブイリ事故からー三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	72-75
325	河田 昌東	一〇年目を迎えた救援活動ーチェルノブイリ救援・中部(特集=チェルノブイリ事故からー三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	69-71
326	山下 史	医師研修とサナトリウム休養による支援ーエストニア・チェルノブイリ・ヒバクシャ基金(特集=チェルノブイリ事故から	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	66-68

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
327	甲斐 等	ヒロシマからチェルノブイリへ---ジュノーの会 (特集=チェルノブイリ事故から---)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	62-65
328	吉沢 弘志	「いのち」の保養里親運動---チェルノブイリ救援募金 (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	59-61
329	園山 美恵	ひろがる救援の輪---チェルノブイリ子ども基金 (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	56-58
330		ベラルーシの大地を走る「雪だるま号」---チェルノブイリ支援運動・九州 (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	53-55
331	日下 郁郎	ロシアの放射能汚染地域を訪ねて---チェルノブイリ支援・宮城 (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	50-52
332	植田 敦	ふたつの原発裁判にみる裁判所の変化 志賀判決---原発が負の遺産を持つことは否定できない/泊判決---原発を中止しようという選択肢があってもよい (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	45-49
333	菊川 慶子	闘いは生活のなかで---六ヶ所村からの報告 (特集=チェルノブイリ事故から---)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	40-44
334	塚本 勝男	国民を欺く原子力予算・電源特別会計 (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	31-39
335	西尾 漠	日本原子力界の無反省 (特集=チェルノブイリ事故から---三年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	26-30
336		特集=チェルノブイリ事故から---三年	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-99	28	3	26-85
337	山田 茂	カラー・グラビア チェルノブイリの子供たち	潮		潮出版社	Aug-99			18-20
338	GLUZMAN D. F.	Acute leukemias in children from the city of Kiev and Kiev region after the Chernobyl NPP catastrophe	Pediatr. Hematol. Oncol.			1999	16	4	355-360
339	JACOB P.	Childhood exposure due to the Chernobyl accident and thyroid cancer risk in contaminated areas of Belarus and Russia	Br. J. Cancer			1999	80	9	1461-1469
340	DUSHENKOV S.	Phytoremediation of radiocesium-contaminated soil in the vicinity of Chernobyl, Ukraine	Environ. Sci. Technol.			1999	33		469-475
341	INOUE Tohru	Radiation Injury and the Chernobyl Catastrophe	International journal of hematology	9255710		1998/12/1	68	4	463-464
342	YOSHIMOTO Yasuhiko, YOSHINAGA Shinji, OMELYANETS N.I.	The Chernobyl Accident and Mortality in Ukrainian People : 1979-1995	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Dec-98	39	4	431

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
343	TAGAMI Keiko,UCHIDA Shigeo,RUHM Werner,STEINER Martin,WIRTH Erich	The Concentration of Technetium-99 in Plant Samples Collected around the Chernobyl Area	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-98	39	4	353
344	AMANO Hikaru,UENO Takashi,MATSUNAGA Takeshi,ONUMA Yosikazu,WATANABE Miki	Vertical migration of long lived radionuclides in undisturbed soil in the Chernobyl 30km zone	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-98	39	4	352
345	SAHOO Sarata Kumar,YONEHARA Hidenori,MATSUMOTO Masaki,KUROTAKI Katsumi,UCHIYAMA Masafumi,KUMAMOTO Yoshikazu,BARKOVSKI Anatoli,ERKIN Victor	The Use of Brick Samples for Retrospective Dosimetry based on Thermoluminescence Method in the Novozybkov area of Bransk region affected due to Chernobyl Accident	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-98	39	4	352
346	Natalia KOROL,Yoshisada SHIBATA,Yoshibumi NAKANE	Psychosomatic Health Status of Children Exposed to the Chernobyl	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Dec-98	43	3	57-61
347	青木 芳朗	放射線事故における緊急時被曝医療 : チェルノブイリ事故その他の経験から	日本救急医学会雑誌 = Journal of Japanese Association for Acute Medicine	0915924X		1998/9/10	9	9	377
348	坂入 武彦	WANO旅日記～その10～ 3回目のチェルノブイリ(続)	火力原子力発電	3871029	火力原子力発電技術協会	1998/6/15	49	6	716-722
349	NASVIT Oleg,今中 哲二	Legislation in Ukraine to Manage the Radiological Consequences of the Chernobyl Accident	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-98	33	2	195-210
350	坂入 武彦	WANO旅日記～その9～ 3回目のチェルノブイリ	火力原子力発電	3871029	火力原子力発電技術協会	1998/5/15	49	5	558-563
351	LITTLEFIELD LG.	Do recorded doses overestimate true doses received by Chernobyl cleanup workers? Results of cytogenetic analyses of Estonian workers by fluorescence in situ hybridization	Radiat Res			1998	150		237-249
352	CHUMAK V.	Chernobyl experience in field of retrospective dosimetry : reconstruction of doses to the population and liquidators involved in	Radiat. Prot. Dosim.			1998	77		91-95
353	HATANO Y.	Aerosol migration near Chernobyl : long-term data and modeling.	Atmos. Environ.			1998	32		2587-2594
354	KLEIN RD	Detection of a novel type of ret rearrangement (PTC5) in thyroid carcinomas after Chernobyl and analysis of the involved ret-fused gene	Cancer Res			1998	58		198-203
355	柳 雪子	私のチェルノブイリ	ジェーピー		神保出版会	Sep-98			24-31
356	東嶋 和子	被曝者 ルポ・チェルノブイリ汚染地を行くーがん治療を阻む財政難の壁 免疫能低下で?慢性病も増加	サイアス		朝日新聞社	1998/8/21	3	15	40892

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
357	羽田野 祐子	チェルノブイリでの放射性エアロゾルの長期挙動と砂漠のバルハンへの応用(小特集 第3回ダスト・ストーム研究会シンポジウム講演要旨集 乾燥地起源の風送ダストー発生・長距離輸送・環境影	沙漠研究	9176985	日本沙漠学会	1998	8	2	185-189
358	舟橋 喜恵	チェルノブイリ被曝者たちの現状(ウクライナ・チェルノブイリ被曝者をたずね	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-98			71-80
359	定信 多紀子	ウクライナ国訪問の旅を終えて(ウクライナ・チェルノブイリ被曝者をたずねて)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-98			64-70
360	久保浦 寛人	被曝者交流の旅を終えて(ウクライナ・チェルノブイリ被曝者をたずねて)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-98			56-63
361	山中 伶子	日本とウクライナの人々との友情によせて(ウクライナ・チェルノブイリ被曝者をたずねて)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-98			52-55
362	柳田 秀樹	チェルノブイリ被災者救援の現状(ウクライナ・チェルノブイリ被曝者をたずね	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-98			47-51
363		ウクライナ・チェルノブイリ被曝者をたずねて	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Jun-98			47-82
364	宮川 裕行	ヒロシマの被曝者がチェルノブイリの被曝者に会うーウクライナ・キエフに旅して(特集 反核反差別)	新日本文学	2877864	新日本文学会	Aug-98	53	7	50-52
365	菅谷 昭	チェルノブイリで小児甲状腺がんの治療に携わって(最終回)貧しさと闘う医療病気に立ち向かう子供たち	月刊薬事	165980	じほう	Jul-98	40	9	2179-2181
366	菅谷 昭	チェルノブイリで小児甲状腺がんの治療に携わって(3)手術室を吹き抜ける不	月刊薬事	165980	じほう	Apr-98	40	6	1443-1445
367	菅谷 昭	チェルノブイリで小児甲状腺癌の治療に携わって(2)私達にできる償い	月刊薬事	165980	じほう	Jan-98	40	1	153-155
368	高野 啓司	現場報告・環境問題と向き合うーチェルノブイリ訪問という経験(特集 環境教育,その危うさと可能性)	教育	3869938	国土社	Dec-98	48	13	74-77
369	明石 昇二郎,ビエル ジャンフランソワ	「仏再処理工場周辺で小児白血病多発」ジャンフランソワ・ビエル教授にインタビュー(特集 チェルノブイリ事故からー	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	76-84
370	伴 英幸	東海再処理工場の火災爆発事故をふりかえる(特集 チェルノブイリ事故からー	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	66-75
371	藤田 祐幸	シュラウド交換という名の被曝労働(特集 チェルノブイリ事故からー二年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	50-65
372	今中 哲二	共同研究を終えて(特集 チェルノブイリ事故からー二年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	40-49
373	木原 省治	ヒロシマとチェルノブイリは連帯できるか(特集 チェルノブイリ事故からー二年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	34-39
374	ティ-ヒー ボロディ-ミル,小出 裕章	被災者の一二年(特集 チェルノブイリ事故から一二年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	15-33
375		特集 チェルノブイリ事故から一二年	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-98	27	3	15-84

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
376	ラズブーク G.,佐藤 幸男,ニコラエフ D.	チェルノブイリ原発事故によるベラルーシでの遺伝的影響(特別レポート ロシヤ―百のヒロシマの国)	技術と人間	2855186	技術と人間	Feb-98	27	1	26-32
377	ルパンディン ウラジミール,今中 哲二	チェルノブイリ原発周辺住民の急性放射線障害に関する記録	技術と人間	2855186	技術と人間	Mar-98	27	2	59-69
378	近江 正	チェルノブイリ事故の長期健康影響国際会議出席報告ウクライナ	海外電力	3884015	海外電力調査会	Sep-98	40	9	62-64
379		チェルノブイリ発電所の近況(ウクライナ)	海外電力	3884015	海外電力調査会	Aug-98	40	8	96-100
380	IVANOV V. K.	Cancer incidence among liquidators of the Chernobyl accident : solid tumors, 1986-1995	Health Phys.			1998	74		309-315
381	HATANO Y.	Aerosol migration near Chernobyl : Long-term data and modeling	Atmos. Environ.			1998	32		2587-2594
382	PACINI F.	Prevalence of thyroid autoantibodies in children and adolescents from Belarus exposed to the Chernobyl radioactive fallout.	Lancet			1998	352		763-766
383	MATSUNAGA T.	Characteristics of Chernobyl-derived radionuclides in particulate form in surface waters in the exclusion zone around the Chernobyl Nuclear Power Plant	J. Contam. Hydrol			1998	35		101
384	HAMATANI Kiyohiro,IWAMOTO Keisuke S.,MIZUNO Terumi,TAKEICHI Nobuo,SEYAMA Toshio	Activation of the RET oncogene in childhood thyroid cancers from the Chernobyl area.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-97	38	4	344
385	IMANAKA Tetsuji,KOIDE Hiroaki	Acute Radiation Injury among Inhabitants and Dose Evaluation by the Chernobyl Accident	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-97	38	4	291
386	館野 之男	6. チェルノブイリ原子力発電所事故時のポーランド在留邦人とヨード剤の服用(第941回千葉医学会例会・第21回千葉大学医学部放射線医学教室同門会例)	千葉医学雑誌	3035476	千葉大学	1997/10/1	73	5	305-306
387	長瀧 重信,芦澤 潔人	最近の話題チェルノブイリ事故と甲状腺癌	日本内科学会雑誌	215384	日本内科学会,The Japanese Society of Internal Medicine	1997/7/10	86	7	1215-1221
388	RYABTSEV Igor A.,今中 哲二	Legislation and Research Activity in Russia about the Radiological Consequences of the Chernobyl Accident	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	1997/6/30	32	2	211-225
389	小林 千枝子	チェルノブイリ事故10年後の医学的影響 : WHOの報告に補足して	医学評論	191574		1997/5/25	98		29-37
390	内山 正史	第24回放医研環境セミナーの概要	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	1997/3/31	32	1	104-107



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
391	MATSKO Vladimir P,今中 哲二	Legislation and Research Activity on Belarus about the Radiological Consequences of the Chernobyl Accident : Historical Review and Present Situation	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	1997/3/31	32	1	81-96
392	村主 進	「チェルノブイリ事故に関する考察」への補足	日本原子力学会誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	47120		1997/3/30	39	3	229-230
393	Schcherbak Yuri M.	チェルノブイリ--その後の10年(核と戦争の20世紀)--(核は人類に何をもたらしたか)	別冊日経サイエンス	9170626	日経サイエンス	Jun-97			72-78
394	甲斐 等	チェルノブイリ惨事被害者との交流,「実態調査」について(ウクライナのチェルノブイリ被爆者をたずねて)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Apr-97			63-66
395	舟橋 喜恵	チェルノブイリの被曝者たち(ウクライナのチェルノブイリ被爆者をたずねて)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Apr-97			56-62
396	山田 寿美子	ウクライナ紀行(ウクライナのチェルノブイリ被爆者をたずねて)	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Apr-97			50-55
397		ウクライナのチェルノブイリ被爆者をたずねて	ヒバクシャ	9111387	原爆被害者相談員の会	Apr-97			50-66
398	今中 哲二	チェルノブイリ事故から十一年(特集 やはり共存できない核)	軍縮問題資料	2870177	宇都宮軍縮研究室	Dec-97			30-35
399	LaForge John M.	海外情報 チェルノブイリ:全世界の悲劇	社会運動	3892670	市民セクター-政策機構	Nov-97			34-37
400	望月 新三郎	子どもの文化・ジャーナル&トピックス ベラルーシの悲しみ--チェルノブイリへの	子どもの文化		子どもの文化研究所	Sep-97	29	8	32-35
401	山下 俊一	チェルノブイリ原発事故と小児甲状腺癌(特集 甲状腺疾患の基礎と臨床--最近の進歩)--(トピックス)	診断と治療	0370999X	診断と治療社	Jul-97	85	7	1156-1160
402		THE NEWS 大阪のハレンチ教師ら4人「懲戒免職」の罪状,朝日新聞「株主代表訴訟」原告のOBが独占告発!警察庁で怪文書まで出た「プリクラ長官(関口祐弘氏)」,「所沢がチェルノブイリになる!」ダイオキシン汚染	週刊現代		講談社	#####	39	46	52-56
403	桜井 醇児	暮らしに潜む環境問題--放射線と健康--チェルノブイリ原発事故による放射線汚染と被害評価	公衆衛生	3685187	医学書院	May-97	61	5	344-348
404	菅谷 昭	チェルノブイリで小児甲状腺がんの治療に携わって(1)極寒のベラルーシへ旅	月刊薬事	165980	じほう	Oct-97	39	11	2329-2331
405	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故によるその後の事故影響(特集 放射線被曝--動燃再処理工場の事故を追う)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-97	26	4	38-53
406	もり すぐる	高レベル[放射性廃棄物]搬入抗議行動(特集 チェルノブイリ事故から11年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-97	26	3	50-55

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
407	明石 昇二郎	敦賀湾「悪性リンパ腫」多発の謎(特集 チェルノブイリ事故から11年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-97	26	3	44-49
408	高橋 宏	80万署名が与えるもの--その後の南島町の動き(特集 チェルノブイリ事故から11年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-97	26	3	35-43
409	ヤロシンスカヤ アルラ	事故直後の放射線障害と10年後の状況(特集 チェルノブイリ事故から11年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-97	26	3	28-34
410	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による周辺住民の急性放射線障害(特集 チェルノブイリ事故から11年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-97	26	3	14-27
411		特集 チェルノブイリ事故から11年	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-97	26	3	14-55
412	BLEUER J.	Chernobyl-related thyroid cancer : what evidence for role of short-lived	Environ. Health Perspect.			1997	105		1483-1485
413	IVANOV VK.	Case-control analysis of leukaemia among Chernobyl accident emergency workers residing in the Russian Federation, 1986-1993	J Radiol Prot			1997	17		137-157
414	SALOMAA S.	Unstable and stable chromosomal aberrations in lymphocytes of people exposed to Chernobyl fallout in Bryansk, Russia	Int. J. Radiat. Biol.			1997	71		51-59
415	HATANO Y.	Fractal fluctuation of aerosol concentration near Chernobyl	Atmos. Environ.			1997	31		2297-2303
416	IVANOV V. K.	Leukaemia and thyroid cancer in emergency workers of the Chernobyl accident : estimation of radiation risks (1986-1995)	Radiat. Environ. Biophys.			1997	36		9-16
417	SNIGIRYOVA G.	Retrospective biodosimetry of Chernobyl clean-up workers using chromosome painting and conventional chromosome analysis	Int. J. Radiat. Biol			1997	71		119-127
418	Igumnov Sergaya	Psychological Development of Children Exposed to Radiation in Prenatal Period as a Result of Chernobyl Disaster	Acta medica Nagasakiensia	0001-6055		Dec-96	41	3	20-25
419	Kryzhanovskaya Ludmila,Nakano Yoshibumi	Mental Health of Liquidators of the Chernobyl Disaster	Acta medica Nagasakiensia	0001-6055		Dec-96	41	3	15-19
420	SHIMASAKI Tatsuya,OKUMURA Yutaka	The body burden of <sup>137</sup> Cs of the residents surrounding the Chernobyl Reactor.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-96	37	4	404
421	HOSHI Masaharu	<sup>137</sup> Cs concentration among children in the Chernobyl area and related dose reconstruction	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-96	37	4	295
422	AMANO Hikaru	Characteristics of Long-lived Radionuclides in the Chernobyl Contaminated Area.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-96	37	4	295

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
423	Nagaoka Toshi	2. Field Survey of Environmental Radiation and Radioactivity in Chernobyl 2-1 Dose Rate Distribution and External Dose of Inhabitants	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-96	37	4	294
424	SHIGEMATSU Itsuzo	Outline of Chernobyl Accident Health Effects Studies - After the International Chernobyl Project in 1990	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-96	37	4	294
425	紀伊國 献三	我が国のチェルノブイリ事故支援活動とその成果	Isotope news	2855518		Nov-96	510		2-7
426	鷹野 和美	チェルノブイリ原発事故被災地住民の食習慣と体内被曝量の関係に関する研究	日本公衆衛生雑誌 = JAPANESE JOURNAL OF PUBLIC HEALTH	5461766		#####	43	10	944
427	井上 義和	チェルノブイリ事故10年IAEA国際会議の印象記 -自然および人間環境に対する影響-	Isotope news	2855518		1996/9/1	508		26-27
428	吉田 聡	「チェルノブイリ後10年間の陸上放射生態学研究会議」に参加して	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Sep-96	31	3	386-388
429	天野 光	チェルノブイリ事故の帰結に関する第1回 EC, ベラルーシ, ロシア, 及びウクライナ合同国際会議, 他に出席して	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Sep-96	31	3	376-378
430	斎藤 公明	国際会議「チェルノブイリから10年: 事故影響の総括」に出席して	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Sep-96	31	3	373-375
431	岩崎 民子	チェルノブイリ事故10年IAEA国際会議の印象記 -健康影響-	Isotope news	2855518		Aug-96	507		24-25
432	井上 衛	NHKスペシャル「終わりなき人体汚染 -チェルノブイリ原発事故から10年-」の取	映画テレビ技術		日本映画テレビ技術協会	1996/7/1	527		36-39
433	KANEVSKY Mikhail, ARUTYUNYAN Rafael, BOLSHOV Leonid, DEMYANOV Vasily, MAIGNAN Michel	ARTIFICIAL NEURAL NETWORKS AND SPATIAL ESTIMATION OF CHERNOBYL FALLOUT	情報地質 = Geological data processing	0388502X	日本情報地質学会	1996/6/25	7	1	5-11
434	鷹野 和美	チェルノブイリ原子力発電所事故による高汚染地域における食品の価格変動と体内被曝量の関連	プライマリ・ケア = Japanese journal of primary care	9148426		1996/6/15	19	2	147-152
435	Kiyoto Ashizawa, Shunichi Yamashita, Shigenobu Nagataki	Radiation and Thyroid Diseases : Experiences in Nagasaki and around Chernobyl	Acta medica Nagasakiensia	16055	長崎大学	Jun-96	41	1	1-7
436	岩崎 民子	チェルノブイリ事故健康影響 -WHO・IPHECA パイロットプロジェクトについて	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-96	31	2	155-160

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
437	星 正治,高田 純,遠藤 暁,藤村 欣吾,蔵本 淳,山下 俊一,難波 裕幸,伊東 正博,芦沢 潔人,長瀧 重信,高辻 俊宏,岡島 俊三,佐藤 齊,柴田 義貞,重松 逸造,紀伊國 献三,MASYAKIN V. B.,KALIMULLIN W. A.,DERZHITSKY V. E.,SHARIFOV V. F.,VESELKINA I. I.,PILENKO I. V.,KOVALEVA S. V.,DOLBESHKIN N. K.,DANILCHIK S. A.,KRUPNIK T. A.,KOVALEV A. I.,AVERICHEV A. A.,SHIMYGUN P. M.,ELAGIN V. V.,SOKOLOVSKIY I.	チェルノブイリ近郊住民の Cs-137 体内量の測定	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-96	31	2	132-142
438	長岡 鋭	チェルノブイリ周辺の環境放射線調査	保健物理 : hoken buturi	3676110	日本保健物理学会	Jun-96	31	2	126-131
439	村主 進	チェルノブイリ事故に関する考察	日本原子力学会誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	47120	日本原子力学会	1996/4/30	38	4	279-286
440	TAKANO Kazumi	Prevention of Internal Exposure to Cesium-137 ( <sup>137</sup> Cs) Radiation in Inhabitants of an Area Contaminated by the Chernobyl Accident	Environmental health and preventive medicine	1342078X	日本衛生学会	Apr-96	1	1	28-32
441	長瀧 重信,横山 直方	チェルノブイリ原発事故による放射能汚染と人体への影響	日本災害医学会会誌 = The Journal of Japan Accident Medical Association	0386975X		1996/3/1	44	3	173-178
442	青木 芳朗	チェルノブイリ事故後9年目のベラルーシを訪ねて	保健物理 : hoken buturi	3676110		Mar-96	31	1	88-89
443	長岡 鋭,斎藤 公明,坂本 隆一,堤 正博,森内 茂	チェルノブイリにおける環境放射線調査	保健物理 : hoken buturi	3676110		Mar-96	31	1	63-68
444	内田賢吾	チェルノブイリ事故由来のCs137の割合キノコ中のCs-134, 137より	石川県保健環境センター年報			1996	33		221-222
445	飯島育代	県内流通食品中の放射性セシウム濃度に見るチェルノブイリ原発事故の影響	神奈川県衛生研究所研究報告			1996	26		48-52
446	PETRIDOU E.	Infant leukaemia after in utero exposure to radiation from Chernobyl.	Nature			1996	382		352-353
447	DUBROVA Y. E.	Human minisatellite mutation rate after the Chernobyl accident	Nature			1996	380		683-686
448	ICHIKAWA S.	Yearly variation of spontaneous somatic mutation frequency in the stamen hairs of Tradescantia clone KU 9 grown outdoors, which showed a significant increase after the Chernobyl	Mutat. Res.			1996	349		249-259

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
449	室田 泰弘,山藤 泰,桜井 薫	エネルギーシンポジウム'96チェルノブイリから10年--見えてきた!21世紀エネルギーの展望[含 講演要旨]	社会民主	13420615	社会民主党全国連合機関紙宣伝局	Jun-96			60-71
450	Kovalevskaya Lyubov,広田 英靖	チェルノブイリ--その社会的政治的意味と結果(特集 チェルノブイリ10年)	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Oct-96			27-31
451	河田 昌東	チェルノブイリ10周年と私達の救援(特集 チェルノブイリ10年)	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Oct-96			22-26
452	中島 篤之助	10周年を迎えたチェルノブイリ原発事故--ベラルーシ共和国の被害状況を中心に(特集 チェルノブイリ10年)	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Oct-96			12-21
453	小林 千枝子	ベラルーシでは甲状腺以外の癌,白血病も増加(特集 チェルノブイリ10年)	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Oct-96			6-11
454	石本 真	チェルノブイリ原発事故10年:視察の記(特集 チェルノブイリ10年)	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Oct-96			2-5
455		特集 チェルノブイリ10年	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Oct-96			2-31
456	和田 あき子	日露のかけはし8:チェルノブイリ救援運動	ユーラシア研究		ユーラシア研究所	Jul-96			43-44
457	村野 賢哉	科学の戦後史-5-事故を教訓にするなチェルノブイリ原発の重大事故	サンサーラ		徳間書店	Jul-96	7	7	104-114
458	小川 政邦	チェルノブイリの妻/ソ連機被爆の広島を空撮/ロシア切手総カタログ/ロシア連邦内国名一部変更ほか	窓	13438018	ナウカ	Jun-96			51-57
459		特集 チェルノブイリ事故の環境影響に関する最近の動向	保健物理	3676110	日本保健物理学会	Jun-96	31	2	125-160
460	保田 浩志	「チェルノブイリから10年--事故影響の総括」国際会議	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Jul-96	38	7	594-596
461		国際研究協力を考える(特集 チェルノブイリ事故から10年--健康影響評価に関わる日本の国際研究協力)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Mar-96	38	3	200-203
462		研究協力(特集 チェルノブイリ事故から10年--健康影響評価に関わる日本の国際研究協力)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Mar-96	38	3	189-200
463		影響の現状(特集 チェルノブイリ事故から10年--健康影響評価に関わる日本の国際研究協力)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Mar-96	38	3	185-189
464		特集 チェルノブイリ事故から10年--健康影響評価に関わる日本の国際研究	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Mar-96	38	3	184-204
465	菅谷 昭	チェルノブイリで小児ガンを治療する	中央公論	5296838	中央公論新社	Sep-96	111	10	160-167
466	神谷 さだ子	NGO第一線-49-ベラルーシ--チェルノブイリ事故10年に思う	世界週報	9110003	時事通信社	1996/6/4	77	20	40-41
467	桜井 淳	チェルノブイリ事故再発も心配されるロシア原発の危険度(特集 それでも消えない「核」の恐怖)	世界週報	9110003	時事通信社	1996/6/4	77	20	14-16

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
468	鈴木 達治郎	テクノ・フロンティア―チェルノブイリ原発事故10年後の評価	世界週報	9110003	時事通信社	1996/4/16	77	14	32-33
469	今中 哲二	最新報告チェルノブイリ事故十年(原発大事故と市民)	世界	5824532	岩波書店	Jun-96			225-236
470	OECD/NEA,日本原子力産業会議	チェルノブイリから10年―放射線・健康影響	原子力資料	3870928	日本原子力産業会議	Jul-96			1-89
471	大田 憲司,篠原 晴道	現地マスコミの話題を追って(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証)	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	47-49
472	海外電力調査会	東欧圏の原子力発電の安全向上に向けて―日本の支援(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証)	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	43-46
473	浅科 修	感性の時代と情報公開―チェルノブイリ事故から教訓を学ぶ(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	38-42
474	斎藤 公明	国際会議「チェルノブイリから10年:事故影響の総括」に出席して(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	34-37
475	佐藤 幸男	チェルノブイリ原発事故における放射線障害―被災地の現状(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	29-33
476	重松 逸造	チェルノブイリ事故後の健康影響について(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証)	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	24-28
477	長滝 重信	放射線健康影響調査から学んだこと(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証)	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	18-23
478	大畑 勉,小野寺 淳一,倉林 美積	チェルノブイリ事故による環境への影響の現状(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証)	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	40864
479	安藤 正樹,今野 孝昭	いま,チェルノブイリ原発4号炉は―現状報告(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証)	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	40704
480	速水 義孝,平野 雅司,若林 利男	事故はどのようにして起こったか―その原因と経過,事故後の改善(特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	40548
481		特集 10年目をむかえたチェルノブイリ原発―現状と検証	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-96	42	10	1-49
482	ノヴィコヴァリユドミラ,アレクシエヴィッチ スヴェトラナ	チェルノブイリの追跡者	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-96	25	7	74-78
483	ヤコベンコ B.T.	チェルノブイリ後10年	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-96	25	6	56-61
484	アレクシエヴィッチ スベトラナ	チェルノブイリの祈り―事故処理者の妻の告白	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-96	25	5	87-96
485	甲斐 等	ヒロシマ―チェルノブイリ(下)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-96	25	4	90-102

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
486	クルグロフ ゲルマン	一〇年後の汚染地帯に行く(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	57-59
487	竹村 英明	高速増殖炉SNR-300開発中止への道(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	53-56
488	ベネケ ヨハン	ヨーロッパにおける高速増殖炉の教訓(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	44-52
489	甲斐 等	ヒロシマ-チェルノブイリ(上)ジュノーの会の歩みを概観して(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	31-43
490	原子 力	われらは核の墓を掘る(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	28-30
491		チェルノブイリ事故・その時,日本は?(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	22-27
492	西尾 漢	大惨事から一〇年日本の原子力産業はいま(特集=チェルノブイリ事故から一〇年)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	16-21
493		特集=チェルノブイリ事故から一〇年	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-96	25	3	16-59
494	ネステレンコ V.B	チェルノブイリの苦い真実	技術と人間	2855186	技術と人間	Mar-96	25	2	81-87
495	MICHAELIS J.	Case control study of neuroblastoma in West-Germany after the Chernobyl Accident	Klin Padiatr			1996	208		172-178
496	CHEREJI I.	Chernobyl-derived radiocesium in some pharmaceutical plants.	J. Radioanal. Nucl. Chem.			1996	212	2	85-92
497	PETRIDOU E	Infant leukaemia after in utero exposure to radiation from Chernobyl	Nature			1996	382		352-353
498	GRANATH F.	Retrospective dose estimates in Estonian Chernobyl clean-up workers by means of FISH	Mutat. Res.			1996	369		7-12
499	河野 益近,KOIZUMI Yoshinobu,SEKACH Stanislov.M.,BUDILINA Tatiana.A.	チェルノブイリ原発事故に伴う日本とベラルーシにおける放射能汚染状況	Japanese Slavic and East European studies	3891186	日本スラヴ・東欧学会	1996	17		53-66
500	TAKATSUJI Toshihiro,SATO Hitoshi,HOSHI Masaharu,SHARIPOV V. F.,VESELKINA I. I.,PILENKO I. V.,KALIMULLIN V. A.,MASYAKIN V B.,KOVALEY A.,NAMBA Hiroyuki,YAMASHITA Syunichi,OKAJIMA Syunzo	Relation between Cs-137 Concentration in Human Bodies and Soil Contamination in personal fanus of Residents near Chernobyl.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-95	36	4	309
501	井上 誠,小林 勇,野口 邦和	チェルノブイリ原発事故以後の放射能汚染食品調査	日本公衆衛生雑誌 = JAPANESE JOURNAL OF PUBLIC HEALTH	5461766		#####	42	10	1379

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
502	森谷 澗	チェルノブイリ4号機のサルコファガス ハリファックス・サミット,チェルノブイリ発 電所閉鎖支援の背景	日本原子力学会 誌 = Journal of the Atomic Energy Society of	47120	日本原子力学会	1995/9/30	37	9	820-822
503	KOIKE Kenichi,YABUHARA Akihiko,YANG Feng-Chun,SHIOHARA Masaaki,SAWAI Nobukuni,SUGENOYA Akira,IDA Futoshi,KOYAMA Yutaka,TAKANO Kazumi,TAKAHASHI Takushi,KAMATA Minoru,KOIZUMI Yoshinobu,ANATOLIEBNA Altusina Tatiana,SKIDANENKO Gennady Ivanovich,KOMIYAMA Atsushi	Frequent natural killer cell abnormality in children in an area highly contaminated by the Chernobyl accident	International journal of hematology	9255710		Apr-95	61	3	139-145
504	佐藤 幸男,LAZJUK Gennady,TCHAIJUNUSOVA Nailya,ROZENSON Raphail,武市 宣雄, 木村 昭郎,加藤 脩,河石 久仁子	Radiation-induced Anomalies : Report of a Study Conducted in Chernobyl	Congenital anomalies	9143505	日本先天異常学会	1995/3/31	35	1	25-42
505	十河 孝博	チェルノブイリ原発事故による放射線障 害児を経絡(経穴)への貼薬治療で救お	全日本鍼灸学会 雑誌	2859955		1995/3/1	45	1	7
506	武市 宣雄,土肥 雪彦,佐藤 幸男	チェルノブイリ被曝小児にみられる甲状 腺癌の実情と現地診療	全日本鍼灸学会 雑誌	2859955		1995/3/1	45	1	6
507	KLUGBAUER S.	High prevalence of RET rearrangement in thyroid tumors of children from Belarus after the Chernobyl reactor	Oncogene			1995	11		2459- 2467
508	FUGAZZOLA L.	Oncogenic rearrangements of the RET proto-oncogene in papillary thyroid carcinomas from children exposed to the Chernobyl nuclear accident	Cancer Res.			1995	55		5617- 5620
509	LUX D.	Cycling of Pu, Su, Cs, and other longliving radionuclides in forest ecosystems of the 30-km zone around Chernobyl.	Sci.Total Environ.			1995	173		375-384
510	PADOVANI L.	Do human lymphocytes exposed to the fallout of the Chernobyl accident exhibit an adaptive response? Challenge with ionizing radiation	Mutat. Res.			1995	332		33-38
511	ISHIKAWA H.	Evaluation of the effect of horizon-tal diffusion on the long-range atmospheric transport simulation with	J.Appl.Meteor.			1995	34		1653- 1665
512	SEVAN'KAEV A. V.	High exposures to radiation received by workers inside the Chernobyl sarcophagus	Radiat.Prot.Dosim			1995	59	2	85-91
513	本橋 成一	いのちの大地--10年目のチェルノブイリ	部落解放	9143955	解放出版社	May-95			p85-99 [含 図8p]
514	村井 志摩子	ヒロシマからチェルノブイリへ(戦争の 語り部たち<特集>)	悲劇喜劇	13425404	早川書房	Dec-95	48	12	p37-39



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
515	広河 隆一	チェルノブイリ被曝者2万5千人を追う (地球は叫ぶ-1-)	世界	5824532	岩波書店	Jan-95			p113-120 [含 グラビア]
516	ワコリユク エレナ,今中 哲二	チェルノブイリの地獄から--休暇中の被災者に救いはない	技術と人間	2855186	技術と人間	Dec-95	24	10	p70-77
517	レベンコ ビクトル,青山 明弘	チェルノブイリを忘れたか--ベラルーシで多発,こどもの甲状腺ガン	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-95	24	6	p55-57
518	田窪 雅文	旧ソ連核実験全データ公開-4-(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p76-77
519	高橋 宏	原発に翻弄される芦浜の町-下-32年にわたる三重県南島町の闘いの歴史(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p64-75
520	石尾 禎佑	活断層に囲まれた動燃人形事業所(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p59-63
521	滝川 康治	核ごみにねらわれた幌延のいま(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p50-58
522	鮎川 ゆりか	英仏再処理と日本--頑ななプルトニウム政策が核ごみを生む(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p42-47
523	北山 五郎	核武装のためのガラス固化か--被爆国ニッポン,プルトニウム増殖へ突き進む(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p39-41
524	今中 哲二	その後のチェルノブイリ(闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p28-38
525		闇をひた走る日本の核--チェルノブイリから9年<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-95	24	3	p28-77
526	武市 宣雄,佐藤 幸男,土肥 雪彦	チェルノブイリ原発事故被災小児の甲状腺癌--9年を経過するところで	医学のあゆみ	392359	医歯薬出版	1995/4/22	173	4	p265-269
527	山下 俊一	チェルノブイリでの小児甲状腺癌--晩発性放射線障害の長期追跡調査の必	医学のあゆみ	392359	医歯薬出版	1995/3/18	172	11	p712-713
528	SALASSIDIS K.	Chromosome painting in highly irradiated Chernobyl victims : a follow-up study to evaluate the stability of symmetrical translocations and the influence of clonal aberrations for retrospective dose estimation	Int. J. Radiat. Biol.			1995	68		257-262
529	CURINI M.	Evaluation of <sup>137</sup> Cs activity in plant drugs and in some phytoderivatives from Chernobyl accident up to present (1986-1994)	Pharmacol. Res.			1995	32	1	69-74

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
530	PAPASTEFANOU C.	Atmospheric deposition of cosmogenic <sup>7</sup> Be and <sup>137</sup> Cs from fallout of the Chernobyl accident	Sci. Total Environ.			1995	170		151-156
531	WEINBERG AD	Caring for survivors of the Chernobyl disaster. What the clinician should know	JAMA			1995	274		408-412
532	ITO M.	Childhood thyroid diseases around Chernobyl evaluated by ultrasound examination and fine needle aspiration cytology.	Thyroid			1995	5		365-368
533	AKIYAMA Mitoshi,SEYAMA Toshio,ITO Takashi,MIZUNO Terumi,IWAMOTO S. Keisuke,TAKEICHI Nobuo,SATO Yukio	Activated RET Oncogene in Thyroid Cancer of Children Residing in Area Contaminated by the Chernobyl	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-94	35	4	303
534	SHIGEMATSU Itsuzo	Chernobyl Nuclear Power Plant Accident and Thereafter	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Dec-94	35	4	250
535	SATOW Y.	Abnormal development caused by radioactivity : Investigative report on Chernobyl : Abstracts of Papers Presented at the Thirty-Fourth Annual Meeting of the Japanese Teratology Society Kochi, Japan July14-16, 1994	Congenital anomalies	9143505	日本先天異常学会	1994/9/30	34	3	225-226
536	GUILLITTE O.	Biological pathways of radionuclides originating from the Chernobyl fallout in a boreal forest ecosystem	Sci. Total Environ.			1994	157		207-215
537	HOSHI M.	<sup>137</sup> Cs concentration among children areas contaminated with radioactive fallout from the Chernobyl accident : Mogilev and Gomel oblast.	Health Phys.			1994	67		272-275
538	LIKHTALEV I. A.	Retrospective reconstruction of individual and collective external gamma doses of population evacuated after the Chernobyl accident	Health Phys			1994	66	6	643-652
539	鷹野 和美	チェルノブイリ原子力発電所事故による高汚染地域における食物と人体の <sup>137</sup> Csの蓄積量に関する研究	日本公衆衛生雑誌	5461766	日本公衆衛生学会	Sep-94	41	9	p920-925
540	山田 茂	放射能汚染地から子どもたちがやってきた--グラフィック「チェルノブイリへのかけはし」によせて	世界	5824532	岩波書店	Oct-94			p162-163,185-192
541	塚本 邦雄	苦艾変相曲(チェルノブイリへんさうきょく)(わたしの詞華集)	現代詩手帖	13425544	思潮社	Jul-94	37	7	p88-95
542	大田 憲司	まだあったチェルノブイリの秘密資料	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Mar-94	40	3	p71-79
543	ヤロシンスカヤ A.,高橋 昇	チェルノブイリ・ウクライナ高官の犯罪	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-94	23	9	p79-86
544	ヤコベンコ ワシリ-,河野 益近	鳥目症候群--チェルノブイリ事故と人間性の喪失	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-94	23	6	p31-35

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
545	青山 明弘	英国に置き去り 日本の核ごみ(チェルノブイリ事故から8年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-94	23	3	p45-54
546	石尾 禎佑	危険な核燃料輸送—人形峠からの視点(チェルノブイリ事故から8年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-94	23	3	p32-44
547	高橋 卓志	チェルノブイリ医療支援の現状(チェルノブイリ事故から8年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-94	23	3	p24-31
548	ヤロシンスカヤ アルラ,高橋 昇	公開された極秘文書—チェルノブイリ事故をめぐるソ連首脳の見解—上—(チェルノブイリ事故から8年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-94	23	3	p15-23
549		チェルノブイリ事故から8年<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-94	23	3	p15-54
550	ヤロシンスカヤ アルラ,高橋 昇	公開された極秘文書—チェルノブイリ事故をめぐるソ連首脳の見解—下—	技術と人間	2855186	技術と人間	May-94	23	4	p33-41
551	大津 定美	「独立」の夢に酔ったウクライナの危機—経済破綻・クリミア・チェルノブイリ	エコノミスト	130621	毎日新聞社	1994/8/2	72	33	p76-79
552	SATOMURA T.	Numerical simulation of regional scale dispersion of radioactive pollutants from the accident at the Chernobyl nuclear power plant	Pap. Meteor. Geophys.			1994	45		51-63
553	ABELIN T.	Thyroid cancer in Belarus post-Chernobyl: improved detection or increased incidence?	Soz. Praventibmed.			1994	39		189-197
554	HOSHI M.	Cesium-137 concentration among children in areas contaminated with radioactive fallout caused by the Chernobyl accident: the results in Mogilev and Gomel oblasts, Belarus	Health Phys.			1994	67		268-271
555	GARGER E. K.	Statistical characteristics of the activity concentration in the surface layer of the atmosphere in the 30km zone of Chernobyl	J. Aerosol Sci.			1994	25		767-777
556	GARGER E. K.	Air concentrations of radionuclides in the vicinity of Chernobyl and the effect of resuspension	J. Aerosol Sci.			1994	25		745-753
557	PAZKHIN E. M.	Fuel-Containing Lavas of The Chernobyl NPP Fourth Block : Topography, Physicochemical Properties, and Formation Scenario	Radiochemistry			1994	36	2	
558	NIKIFOROV Y.	Pediatric thyroid cancer after the Chernobyl disaster : Pathomorphologic study of 84 cases (1991-1992) from the Republic of Belarus	Cancer			1994	74		748-766
559	鷹野 和美	チェルノブイリ原子力発電所爆発事故による被災者に対する移住政策に関する	社会福祉学	9110232	一般社団法人日本社会福祉学会	#####	34	2	146-158
560	森嶋 彌重,古賀 妙子,河合 廣	琵琶湖生態圏におけるチェルノブイリ原発事故による放射能汚染	近畿大学原子力研究所年報	3748715	近畿大学	#####	30		13-26

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
561	TAKEICHI Nobuo,SATOW Yukio,MATSUURA Chiaki,YAMADA Hideo,EZAKI Haruo,DOHI Kiyohiko	Thyroid cancer in children following Chernobyl Nuclear Power Plant accident in 1986.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Dec-93	34	4	372
562	YAMAMOTO M.,K. Bunzl	Environmental Effect Studies on a Forest Ecosystem in Germany - Transport of Chernobyl-derived radiocesium in a forest-	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-93	34	1	28
563	OKAJIMA Syunzo,HOSHI Masaharu,TAKATSUJI Toshihiro,YAMASHITA Syun-ichi,NANBA Hiroyuki,YOKOYAMA Naokata,IZUMI Motoe,FUJIMIJRA Kingo,SHIHATA Yoshisada	Cesium-137 whole body counting in people living in Chernobyl area (preliminary report)	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-93	34	1	115
564	IMANAKA Tetsuji,SEO Takeshi,KOIDE Hiroaki	Radioactivity Contamination and Radiation Exposure by the Chernobyl	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Mar-93	34	1	115
565	YAMAMOTO M.,K. Bunzl	Environmental Effect Studies on a Forest Ecosystem in Germany - Transport of Chernobyl-derived radiocesium in a forest-	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-93	34	1	28
566	山本 政儀,BUNZL Kurt	ドイツにおける森林生態系の環境影響研究 - チェルノブイリ原発事故由来の放射性 Cs の動態 -	Radioisotopes	338303	日本アイソトープ協会	Mar-93	42	3	180-188
567	室賀 昭子	チェルノブイリに健やかな日々を 倉敷でのジェーニャ、ユーリヤ、オクサナ	幼児の教育		日本幼稚園協会	1993/2/1	92	2	32-41
568	SHIRAISHI K	Radionuclide contents in environmental samples as related to the Chernobyl accident	J. Radioanal. Nuc. Chem. Art.			1993	171		319-328
569	稲葉 次郎	チェルノブイリ事故の影響(放射線利用に伴うリスク<特集>)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Jul-93	35	7	p612-615
570	公明編集部	若者動かす「子ども基金」-チェルノブイリ原発事故から7年	公明	4542436	公明機関紙局	May-93			p108-114
571	藤井 誠二	チェルノブイリの子どもたち-ベラルーシからの子どもらと北海道の夏	月刊社会党	4351754	日本社会党中央本部機関紙局	Dec-93			p104-108
572	今中 哲二	ベラルーシのチェルノブイリ事故影響研究の現状-下-	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-93	22	9	p102-111
573	今中 哲二	ベラルーシのチェルノブイリ事故影響研究の現状-上-	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-93	22	8	p46-53
574	安部 竜一郎	原発料金裁判が明らかにしたこと(チェルノブイリから7年,検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p67-76
575	PGプロジェクト	原発ゼロはどうしたら実現可能か-座談会/2010年スリム社会のために私たちができること(チェルノブイリから7年,検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p60-66

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
576	明石 昇二郎	核に揺れる下北半島のいま—東通、むつ、大間、そして六ヶ所村長選の行方(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p54-59
577	真下 俊樹	原発の公費「タダ乗り」を許すな—原発の電気が安い理由—マルチナショナル・モニターより(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p50-53
578	青山 明弘	返ってくる高レベル廃棄物—海外再処理委託のもう1つの後始末(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p43-49
579	李 ヒョンスク, 仁科 健一	私は原発当局の手先だった—韓国安眠島の放射性廃棄物処分場をめぐるある告白(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p32-42
580	ルパンディン ウラジミール, 今中 哲二	隠れた犠牲者たち—チェルノブイリ事故がもたらした一般住民の急性放射線障害(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p24-31
581	真下 俊樹	旧ソ連・東欧の脱原発は可能だ—仏「シランス」誌が指摘(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p19-23
582	西尾 漢	チェルノブイリ7年目の現実(チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p12-18
583		チェルノブイリから7年、検証・世界の原子力<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-93	22	3	p12-76
584	バガチエビッチ L., 今中 哲二	チェルノブイリ事故直後の秘密文書—6年間続いた「秘密」の印	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-93	22	5	p25-30
585	鈴木 真奈美	「ウラル核惨事」の全貌明らかに—放出放射能は「チェルノブイリ」の約3倍	科学朝日	3684741	朝日新聞社	Jan-93	53	1	p42-47
586	SEVANKAEV A. V.	'Rogue' cells observed in children exposed to radiation from the Chernobyl accident	Int J. Radiat. Biol.			1993	63		361-367
587	LIKHTAREV I. A.	Ukrainian thyroid doses after the Chernobyl Accident	Health Phys.			1993	64		594
588	NAUMAN J	Iodine prophylaxis in Poland after the Chernobyl reactor accident : benefits and risks	Am J Med			1993	94		524-532
589	LUKASHEV V. K.	Some geochemical and environmental aspects of the Chernobyl nuclear accident	Applied Geochemistry			1993	8		419-436
590	DAVISON W.	The transport of Chernobyl-derived caesium through two freshwater lakes in Cambria, UK	J. Environ. Radioactivity			1993	19		127-155
591	SHIGETA Y	原子力事故による越境汚染と領域主権—チェルノブイリ原発事故を素材として—	法學論叢	3872866	学術雑誌目次速報データベース由来	1993	133	2	63-89

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
592	佐藤 斉	チェルノブイリと技術協力	日本放射線技術 學會雑誌	3694305	公益社団法人日本放射 線技術学会	1992/4/1	48	4	689-690
593	NAKAJIMA Toshiyuki,OHTSUKI Toshiko,LIKHTARIOV Illia	Evaluation of Evacuated People at Chernobyl Accident by Sugar.	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Mar-92	33	1	80
594	IMANAKA Tetsuji,SEO Takeshi,KOIDE Hiroaki	Radioactivity and External Dose in the Contaminated Area around Chernobyl	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Mar-92	33	1	34
595	SHIGEMATSU Itsuzo	Hiroshima-Nagasaki-Ural-Chernobyl -- Epidemiological Study on Radiation- induced Disorders--	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-92	33	1	18
596	MASCANZONI D.	Determination of <sup>90</sup> Sr and <sup>137</sup> Cs in mushrooms following the Chernobyl fallout.	J. Radioanal. Nucl. Chem. Articles			1992	161		486-488
597	菅谷昭	チェルノブイリ原子力発電所爆発事故 による高汚染地域の甲状腺腫：第2報	内分泌外科			1992	9		197-200
598	藤田 祐幸	チェルノブイリ原発事故による放射能影 響	慶応義塾大学日 吉紀要 自然科学	9117237	慶応義塾大学日吉紀要 刊行委員会	1992			p39-73
599	蔵本 淳	その後のチェルノブイリ--国際原子力 機関(IAEA)による現地調査結果(1990 ~1991)の報告(特別講演-2-)(第33回 [日本臨床血液学会]総会)	臨床血液	4851439	日本臨床血液学会	Jul-92	33	7	p950-957
600	リムデイカ ゲディミナス	リトアニア リトアニア国民に対するチェ ルノブイリ惨事の影響(人間を虫けらの ように...--原水禁'92世界大会国際会 議 核実験・原発事故被害者の報告)	文化評論	0521789X	新日本出版社	Oct-92			p132-136
601	大島 真,木村 さなえ	新聞報道に関する日英両語比較分析- チェルノブイリはいかに報道されたか	都留文科大学研 究紀要	2863774	都留文科大学	1992			p21-30
602	座談会 中島 篤之助	チェルノブイリ原発事故の"後遺症"-- 第2次チェルノブイリ救援調査団の活動	前衛	13425013	日本共産党中央委員会	Jan-92			p194-215
603	ペトラチョフ ミハイル・A.,井上 怜子	実録--エリツインの素顔-2-細菌兵器の 犠牲になった!?スベルドロフスクーチェ ルノブイリに似た悲劇を旧政権が隠す	世界週報	9110003	時事通信社	1992/9/1	73	33	p20-23
604	和田 あき子	チェルノブイリの絆--旧ソ連民衆との共 生を求めて(CIS--カタストロイカ?特集	世界	5824532	岩波書店	Apr-92			p140-146
605	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による放射能汚 染と被災者たち-3-	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-92	21	7	p115-127
606	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による放射能汚 染と被災者たち-4-	技術と人間	2855186	技術と人間	Aug-92	21	8	83-97
607	ヤロシンスカヤ アルラ,今中 哲二	暴かれたチェルノブイリ秘密議事録(「イ ズベスチャ」1992年4月24日号)	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-92	21	9	p24-31
608	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による放射能汚 染と被災者たち-1-	技術と人間	2855186	技術と人間	May-92	21	5	p115-127
609	藤田 祐幸	チェルノブイリ原発事故による被曝影響 の全貌(チェルノブイリ事件から6年<特	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-92	21	4	p45-57
610	松岡 信夫	ブリュハーノフ元所長の告白(チェルノ ブイリ事件から6年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-92	21	4	p40-44

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
611	技術と人間編集部	プルトニウムによる土壌汚染(チェルノブイリ事件から6年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-92	21	4	p32-37
612	今中 哲二	規則違反か設備欠陥か?—チェルノブイリ原発事故の原因に関する最近の報告から(チェルノブイリ事件から6年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-92	21	4	p20-31
613	インタビュー 藤田 祐幸	チェルノブイリ救援運動の現在(いま)(チェルノブイリ事件から6年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-92	21	4	p10-19
614		チェルノブイリ事件から6年<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-92	21	4	p10-57
615	今中 哲二	チェルノブイリ原発事故による放射能汚染と被災者たち-2-	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-92	21	6	p117-127
616	武田 篤彦	5年後のチェルノブイリを訪ねて	遺伝	3870022	裳華房	Jul-92	46	7	p80-87
617	FURMANCHUK AW.	Pathomorphological findings in thyroid cancers of children from the Republic of Belarus:A study of 86 cases occurring between 1986('post-Chernobyl') and 1991	Histopathology			1992	21		401-408
618	BAVERSTOCK K.	Thyroid cancer after Chernobyl.	Nature			1992	359		21-22
619	KAZAKOV V. G.	Thyroid cance after Chernobyl	Nature			1992	359		21
620	ROBBINS J. A.	Epilimnetic scavenging of Chernobyl radionuclides in Lake Constance	Geochim. Cosmochim. Acta			1992	56		2339-2361
621	HOETZL H.	Sources of present Chernobyl derived cesium concentrations in surface air and deposition samples	The Science of Total Environment			1992	119		231-242
622	ROWAN J. S.	The transport and fluvial redistribution of Chernobyl-derived radiocesium within the river Wye basin, UK	Sci. Total. Environ.			1992	121		109-131
623	METTLER F. A. Jr.	Thyroid nodules in the population living around Chernobyl.	J.A.M.A.			1992	268		616-619
624	SHIGETA Y	原子力事故による越境汚染と領域主権—チェルノブイリ原発事故を素材として—	法學論叢	3872866	学術雑誌目次速報データベース由来	1992	131	2	97-122
625	SATO Yukio	Chernobyl's Child Victims	Japan quarterly	214590	学術雑誌目次速報データベース由来	1992	39	1	72-85
626	Koga Taeko,Morishima Hiroshige,Niwa Takeo	Tritium Precipitation in European Cities and in Osaka,Japan Owing to the Chernobyl Nuclear Accident	近畿大学原子力研究所年報	3748715	近畿大学	#####	28		25-39
627	古賀 妙子,森嶋 彌重,丹羽 健夫,河合 廣	Tritium Precipitation in European Cities and in Osaka, Japan Owing to the Chernobyl Nuclear Accident	Journal of Radiation Research	4493060	日本放射線影響学会	Sep-91	32	3	267-276
628	MORISHIMA HIROSHIGE,KOGA TAEKO,NIWA TAKEO,KAWAI HIROSHI	Tritium Precipitations in Osaka, Japan and European Cities due to Chernobyl Nuclear Accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-91	32	1	88

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
629	成瀬 敏郎	チェルノブイリ原発事故とウィーン	地學雑誌	0022135X		1991/2/25	100	1	153
630	RAES F	Multi-fractal nature of radioactivity deposition on soil after the Chernobyl accident	Health Phys			1991	61		271-282
631	POHL-RULING J.	The effect on lymphocyte chromosomes of additional radiation burden due to fall-out in Salzburg (Austria) from the Chernobyl accident.	Mutat. Res.			1991	262		209-217
632	飯田太	チェルノブイリ原子力発電所爆発事故による高汚染地域の甲状腺腫：第1報	内分泌外科			1991	8		383-386
633	Levi H.W.	Radioactive Deposition in Europe after the Chernobyl Accident and its Long-Term Consequences (Development of Ecological Concept--Special Issue of Plenary Lectures at INTECOL' 90)	Ecological Research	9123814	Ecological Society of Japan	Aug-91	6	2	p201-216
634	座談会 角田 道生	チェルノブイリ汚染地帯をゆく--原発事故被災者救援調査団に参加して	文化評論	0521789X	新日本出版社	Jan-91			p132-156
635	小林 千枝子	チェルノブイリ原発事故にかんする医学レポート(地球環境と21世紀への選択--原子力発電問題を中心に<特集>)	日本の科学者	290335	日本科学者会議	Apr-91	26	4	p210-216
636	中島 篤之助	チェルノブイリ原発事故,白ロシアからの報告--被曝・環境汚染調査に参加して(地球環境と21世紀への選択--原子力発電問題を中心に<特集>)	日本の科学者	290335	日本科学者会議	Apr-91	26	4	p203-209
637	角田 道生	チェルノブイリ原発事故が残したもの--被害の現状と教訓	前衛	13425013	日本共産党中央委員会	Feb-91			p117-129
638	渥美 好司	放射能が眠る石棺を訪ねて--5年目のチェルノブイリ取材(環境汚染取材記)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Jan-91			p45-47
639	綿貫 礼子	チェルノブイリが問いかける放射能遺伝の影響と現実(誌上ルポ)	公明	4542436	公明機関紙局	Jul-91			p156-160
640	近江 巳記夫	チェルノブイリ原発事故被災者の救援--さらにキメ細かな医薬品援助を(シリーズ・今,この問題にチャレンジ)	公明	4542436	公明機関紙局	Feb-91			p134-139
641	技術と人間編集部	ソ連ゴスプラン専門委の結論(チェルノブイリ5年目の現実<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-91	20	4	p23-29
642	技術と人間編集部	真相解明を阻害する"国際協力"(チェルノブイリ5年目の現実<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-91	20	4	p19-21
643	技術と人間編集部	チェルノブイリ被害総額の推定(チェルノブイリ5年目の現実<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-91	20	4	p10-18
644		チェルノブイリ5年目の現実<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-91	20	4	p10-29
645	RAES F.	Multi-factoral nature of radioactivity deposition on soil after the Chernobyl accident	Health Phys			1991	61		271-282



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
646	AOYAMA M.	The temporal variation of stratospheric fallout derived from the Chernobyl accident	J. Environ. Radioactivity			1991	13		103-115
647	結田 康一,駒村 美佐子,小山 雄生	チェルノブイリ原発事故によるコムギ地上部と土壌のI-131汚染：降雨の影響	日本土壌肥料学雑誌	290610	社団法人日本土壌肥料学会	1990/4/5	61	2	165-172
648	OKANO MASAHARU,IZUMO KOUICHI,TENDOW YOSHIHIKO,KATOU TAKEO	Measurement of Environmental Radiation after Chernobyl Accident using SSR	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-90	31	1	84
649	HISAMATSU SHUN'ICHI,TAKIZAWA YUKIO	<sup>137</sup> Cs Ingestion in Akita City, Japan, from the Chernobyl Reactor Accident	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Mar-90	31	1	51
650	HIROSE KATSUMI, AOYAMA MICHIO, SUGIMURA YUKIO	Concentrations and size distributions of gamma-emitting nuclides, Sr-90 and plutonium isotopes in the surface air at Tsukuba: Effect of the Chernobyl accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-90	31	1	51
651	ISHII H.	ESR dosimetry of teeth of residents close to Chernobyl reactor accident	J. Nucl. Sci. Technol.			1990	27		1153-1155
652	松岡 信夫	問われる国家・技術・人間(事故後4年のチェルノブイリ―放射能汚染の恐怖が見えてきた)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1990/4/27	32	17	p25-28
653	大野 拓司	「秘密主義」告発する子どもたちの悲惨(現地ルポ)(事故後4年のチェルノブイリ―放射能汚染の恐怖が見えてきた)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1990/4/27	32	17	p22-24
654		事故後4年のチェルノブイリ―放射能汚染の恐怖が見えてきた	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1990/4/27	32	17	p22-28
655	松岡 信夫	初公開 チェルノブイリ汚染地図―白ロシア広く覆うキノコ狩り規制地域(今週のゲンバツワイド版)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1990/1/26	32	3	p92-95
656	前田 利夫	チェルノブイリ原発事故の深刻な後遺症(ニュースの窓)	あすの農村		日本共産党中央委員会	Dec-90			p67-69
657		チェルノブイリ事故をめぐる大きなウソ―モスクワ・ニュース紙の座談会記録	燃料及燃焼	3693783	燃料及燃焼社	Sep-90	57	9	p657-664
658	桜井 淳	原発技術にみるソ連・東欧の安全感―「第2のチェルノブイリ」の予兆が感じら	世界週報	9110003	時事通信社	1990/9/25	71	37	p41-45
659	松岡 信夫	共通の希望のための旅―チェルノブイリ・1990年	世界	5824532	岩波書店	May-90			p311-320
660	インタビュー アダモ・ヴィチアレシ,インタビュー 松岡 信夫	人類の悲劇としてのチェルノブイリ	世界	5824532	岩波書店	Jul-90			p214-220
661	稲葉 次郎	事故に学ぶ-25-チェルノブイリ事故による公衆の放射線被曝	高圧ガス	4522311	高圧ガス保安協会	Apr-90	27	4	p260-266
662	アバリン S.S.	チェルノブイリ事故炉の診断調査―1989年7月6日	原子力資料	3870928	日本原子力産業会議	Oct-90			p1-6
663	バーテル ロザリ,淵脇 耕一	R.バーテル,チェルノブイリに行く	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-90	19	11	p106-113
664	山根 雅子	チェルノブイリ調査紀行(激変する世界―もうひとつの見方<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-90	19	10	p10-19

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
665	ソ連児童基金白ロシア支部,松岡 信夫	チェルノブイリの悲劇と子どもたち--白ロシアからのアピール	技術と人間	2855186	技術と人間	Aug-90	19	8	p54-57
666	松岡 信夫	あるパイロットの死(チェルノブイリ・リポート)	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-90	19	9	p87-89
667	佐伯 昌和,技術と人間編集部	チェルノブイリ事故の核心に迫る(現代科学・技術を考えるための200冊)--(読書案内)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-90			p33-35
668	青山 明弘	原発推進と東電の台所事情(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p79-85
669	平井 孝治	東電に原発の是非を問う--株主運動の成果とこれから(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p73-78
670	柴原 洋一	芦浜原発阻止の4半世紀--原発に翻弄される熊野の漁民たち(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p63-72
671	山根 雅子	R-DAN運動の今日,そして明日--放射能を見張るネットワーク--その後(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p51-62
672	竹村 英明	福島第2原発事故--隠されていた構造欠陥(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p40-50
673	核燃料輸送を監視する東京連絡会議	核燃料が街を走る--核燃輸送・都庁交渉の経過報告(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p31-39
674	明石 昇二郎	下北半島・核事情(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p22-30
675	松岡 信夫	チェルノブイリ同盟[規約](4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p19-21
676	青山 明弘	原子力に傾く民主化東欧(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p14-18
677	インタビュー シチェルバク ユーリ,インタビュー 松岡 信夫	破局を避けるために全力を(4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p10-13
678		4年目を迎えたチェルノブイリ事故<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-90	19	4	p10-85
679	メドベージェフ グレゴリー,松岡 信夫	「チェルノブイリ・ノート」から	技術と人間	2855186	技術と人間	Jan-90	19	1	p53-62
680	SANTSCHI P. H.	The self-cleansing capacity of surface waters after radioactive fallout-evidence from European waters after Chernobyl, 1986-1988	Environ. Sci. Technol.			1990	24		519-527
681	RAES F.	Radioactivity measurements in air over Europe after the Chernobyl accident	Atmos. Environ.			1990	24	4	909-916
682	須田 不二夫	チェルノブイリ原発事故後5年間の原子力開発に対する学生意識の変遷:生活科学課程3年次生に対するアンケート結果を中心として	東海大学紀要, 教養学部	3892018	東海大学	1990	21		31-47

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
683	ARVELA H.	Mobile survey of environmental gamma radiation and fall-out levels in Finland after the Chernobyl accident	Radiat. Prot. Dosim.			1990	32		3
684	HASHIZUME Takeo,橋爪 健郎	FALLOUT IN KYUSHU FROM THE ACCIDENT OF CHERNOBYL NUCLEAR PLANT (Part II)	鹿児島大学理学部紀要. 数学・物理学・化学	3854027	鹿児島大学,カゴシマダイガク,Kagoshima University	#####	22		135-139
685	高木 仁三郎	W. Sweet: Chernobyl, What Really Happened, Technology Review 92 (1989) No. 5, p. 42-52, 佐藤一男: チェルノブイリ原発事故, 電力新報社, 東京, 1988, 216p., 四六判, 1,600円, IO. シチエルバク著, 松岡信夫訳: チェルノブイリからの証言, 技術と人間, 東京, 1988, 250p., 四六判, 1,800円, 松岡信夫: ドキュメント チェルノブイリ, 緑風出版, 東京, 1988, 366p., 四六判, 2,500円, H. ハンマン・S. パーロット著, 小笠原信之・青山明弘訳: チェルノブイリのメーデー, 一光社, 東京, 1988, 306p., 四六判, 2,500円, V. Haynes and M. Bojcun: The Chernobyl Disaster, Hogarth Press, London, 1988, 234p., A5変形判, £7.95 (paperback) (Current Affairs), D. R. Marples: The Social Impact of the Chernobyl Disaster, Macmillan Press, Houndmills and London, 1988, 314p., A5変形判, £9.50 (paperback), £27.50 (hard cover), 高木仁三郎: 巨大事故の時代, 弘文堂, 東京, 1989, 238p., 四六	日本物理學會誌	290181	社団法人日本物理学会	1989/12/5	44	12	923-924
686	駒村 美佐子,結田 康一,小山 雄生	11-30 チェルノブイリ原発事故に伴う農業環境への放射能汚染について(11.環境保全)	日本土壌肥料学会講演要旨集	2885840	社団法人日本土壌肥料学会	1989/3/25		35	186
687	UCHIYAMA MASAFUMI,NAKAMURA YUJI,KOBATASHI SADAYOSHI,IINUMA A.	Radiocesium body burden of Japanese who returned from European countries following the Chernobyl accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-89	30	1	51
688	UCHIYAMA MASAFUMI	Evaluation of internal dose consequences due to the Chernobyl nuclear power plant accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-89	30	1	6
689	YAMAMOTO MASAYOSHI	Release and Deposition of Transuranium Elements from the	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Mar-89	30	1	5
690	水島 朝穂	チェルノブイリ後の西ドイツ: 核と平和	札幌学院大学現代法研究所年報		札幌学院大学	Mar-89	1988		40550
691	小平 純一,笹尾 真実子,大林 治夫	IV チェルノブイリ原子炉事故による降雨中の放射能	IPPJ-DT: 資料・技術報告		核融合科学研究所	Mar-89	146		20-30
692	稲葉次郎	チェルノブイリ原子力発電所事故による環境汚染と放射線被曝	保健物理			1989	24		133-147

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
693	BATTISTON G. A.	Radioactivity in mushrooms in northeast Italy following the Chernobyl	J. Environ. Radioactivity			1989	9		53-60
694	BALDINI E.	Further investigation on the Chernobyl pollution in forest biogeocenoses.	Radiochimica Acta			1989	46		143-144
695	柳田 耕一	チェルノブイリと水俣--共通する日常性と愚かな社会	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1989/1/20	31	3	p40-44
696	高梨 四郎	原発論議の焦点を見直そう--チェルノブイリ事故3周年にあたって	労働経済旬報	13425242	労働経済社	1989/4/20	43	1390	p12-17
697	舘野 淳	科学者の目から見た原発論争--スリマール島事故から10年,チェルノブイリ事故から3年	文化評論	0521789X	新日本出版社	Feb-89			p110-119
698		マンガで見る技術シリーズ-2-リモートセンシング-地球を見つめて-1-チェルノブイリ原発事故	測量	2857790	日本測量協会	Aug-89	39	8	p70-75
699	松岡 信夫	チェルノブイリ・1096日	世界	5824532	岩波書店	May-89			p286-296
700	田代 ヤネス・和温	チェルノブイリ後のヨーロッパ(原発と自治体(講演録))	月刊自治研	13425021	自治研中央推進委員会	Jun-89	31	6	p88-96
701	講演 高木 仁三郎	チェルノブイリ3周年--脱原発をめざして(地球の非核化をめざして<特集>)	教育評論	235997	アドバンテ-ジサーバー	Aug-89			p18-25
702	コレスニコワ E.,松岡 信夫	チェルノブイリ原発元所長とのインタビュー下-(「社会主義工業」紙89年9月)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-89	18	11	p51-53
703	コレスニコワ E.,松岡 信夫	チェルノブイリ原発元所長とのインタビュー上-(「社会主義工業」紙89年9月)	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-89	18	10	p48-51
704	松岡 信夫	チェルノブイリ原発事故3周年の記念集会--「ニューズ・フロム・ウクライナ」紙より(反原発運動が世界を変える<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-89	18	7	p14-17
705	青山 明弘	ソ連が公表した惨事の傷跡(チェルノブイリから3年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-89	18	4	p90-96
706	シチェルバク ユーリ-、松岡 信夫	原発技師ウ-スコフの日記下-(チェルノブイリから3年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-89	18	4	p83-89
707	青山 明弘	ゴルバチョフ書記長と盲目の子豚(チェルノブイリから3年<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-89	18	4	p77-82
708		チェルノブイリから3年<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-89	18	4	p77-96
709	放射線医学総合研究所	チェルノブイリ原子力発電所事故の日本人への影響	官公庁公害専門資料	9190570	公害研究対策センター	Mar-89	24	2	p84-88
710	大田 憲司	保養地クリミアに原発は必要か?--チェルノブイリ事故3年のソ連で論争	科学朝日	3684741	朝日新聞社	May-89	49	5	p28-32
711	高嶋 進	ソ連・チェルノブイリ原子力発電所訪問記	OHM	3865576	オ-ム社	Sep-89	76	9	p2-3,56~59
712	井出野 栄吉	チェルノブイリ事故とその影響	一橋論叢	182818	一橋大学	1988/7/1	100	1	1-20
713	槌田 敦	原発巨大事故の考察:チェルノブイリ事故について	日本物理學會誌	290181	社団法人日本物理学会	1988/3/5	43	3	182-185

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
714	IMANAKA TETSUJI,SEO TAKESHI,KOIDE HIROAKI	Radioactivity Release from the Chernobyl-4 Accident and Its Cancer Cosequences	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-88	29	1	80
715	AOYAMA M,HIROSE K,SAGI T,SUGIMURA Y	Cs-134 AND Cs-137 CONCENTRATIONS IN SEAWATER OF THE WESTERN NORTH PACIFIC AND MARGINAL SEA : EFFECTS OF THE CHERNOBYL FAILLOUT.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-88	29	1	30
716	KOGA TAEKO,MORISHIMA HIROSHIGE,NIWA TAKEO,KAWAI HIROSHI,HISANAGA SAEMI,ITOH TETSUO,MIKI RYOTA,KONDO SOHEI	Radioactive Contamination on the Biosphere of Biwa Lake Resulted from Chernobyl Reactor Accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-88	29	1	30
717	HIROSE KATSUMI,SUGIMURA YUKIO	Plutonium Isotopes in Surface Air in Japan : Effect of the Chernobyl	Journal of radiation	4493060	日本放射線影響学会	Mar-88	29	1	27
718	定方 昭夫	レトリックによる情報操作：例えばチェルノブイリ原発事故報道の場合	研究紀要	2877376	長岡大学	Feb-88	13		19-24
719	UEMATSU M.	Aerosol Residence Times and Iodine Gas/Particle Conversion over the North Pacific as Determined from Chernobyl Radioactivity	Geochem.J.			1988	22		157-163
720	AOYAMA M.	Evidence of stratospheric fallout of caesium isotopes from the Chernobyl accident	Geophys. Res. Lett.			1988	15		327-330
721	内山正史	チェルノブイリ原子力発電所事故と日本人の <sup>137</sup> Cs体内量	放射線科学			1988	31		169-177
722	TEHERANI D. K.	Determination of <sup>137</sup> Cs and <sup>134</sup> Cs radioisotopes in various mushrooms from Austria one year after the Chernobyl incident.	J. Radioanal. Nucl. Chem., Lett.			1988	126		401-406
723	TAKIGAWA Y.	Influence affected northern part Japan (Akita) of the Soviet Union chernobyl nuclear reactor accident	Acta Med. Biol.			1988	35		109-118
724	KUSAKABE M.	Rapid transport of Chernobyl radioactivities into the North Pacific	Geophys. Res. Lett.			1988	15		44-47
725	BYRNE AR.	Radioactivity in fungi in Slovenia, following the Chernobyl accident.	J. Environ. Radioactivity			1988	6		177-183
726	談 藤田 祐幸	ポスト・チェルノブイリ時代の生き方を探る基本文献たち―「反原発」時代の広がり (BOOK GUIDE' 88--カウチ・ポテト時代のシステム読書術) -- (読書ゲーム術--ゲームのように読書する)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/4/20	30	16	p43-46
727	原子力問題研究グループ	反原発の非科学的展開を憂える (チェルノブイリ暴走事故から2年<特集>)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/5/13	30	19	p34-36
728	井上 ひさし	反原発運動は保険料である (チェルノブイリ暴走事故から2年<特集>)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/5/13	30	19	p31-33

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
729	中村 謙	時代の合言葉は「脱原発」(チェルノブイリ暴走事故から2年<特集>)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/5/13	30	19	p26-30
730	高木 仁三郎	ソ連からヨーロッパへ一人ひとりに蓄積する放射能セシウムの危険度(チェルノブイリ暴走事故から2年<特集>)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/5/13	30	19	p20-22
731	槌田 敦	誌上避難訓練—もしも日本で起こったら…(チェルノブイリ暴走事故から2年<特集>)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/5/13	30	19	p14-19
732		チェルノブイリ暴走事故から2年<特集>	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1988/5/13	30	19	p14-36
733	我部山 益男	チェルノブイリ原子力発電所事故に由来する防衛大学校付近での放射能測定	防衛大学校理工学研究報告	3857301	防衛大学校	Dec-88	26	2	p133-142
734	市川 富士夫	頻発する日本と世界の原発事故—チェルノブイリ事故から2年(原発なにが問題)	文化評論	0521789X	新日本出版社	Jul-88			p83-92
735	荻野 晃也	地球を汚染したチェルノブイリ原発事故(原発—差別のうえに建つ<特集>)	部落解放	9143955	解放出版社	Oct-88			p37-52
736	佐藤 一男	チェルノブイリ原子力発電所事故(資料)	非破壊検査	3675866	日本非破壊検査協会	Apr-88	37	4	p297-301
737	熊取 敏之	チェルノブイリ原発事故被曝者の放射線障害—実態と治療	日本臨床	471852	日本臨床社	Apr-88	46	4	p952-963
738	尾藤 朋子	放射能環境汚染が与える飲料水への影響—チェルノブイリ原発事故(小島貞男会長古希記念号)	日本水処理生物学会誌	9106758	日本水処理生物学会	Oct-88	24	1	p84-90
739	住田 健二	チェルノブイリの危険な話	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Aug-88	30	8	p671-673
740	高谷 幸	チェルノブイリ原発事故と輸入食品—暫定限度の妥当性を中心に(原子力<特集>)	通産ジャーナル	2855089	通商産業調査会	Nov-88	21	11	p29-32
741	江畑 謙介	ソ連原子力衛星落下騒動の周辺を探る—1歩誤れば“宇宙版チェルノブイリ”	世界週報	9110003	時事通信社	#####	69	42	p44-47
742	岡橋 恒夫	3年目に入ったチェルノブイリ原発事故とその後遺症—人体、食品への放射能汚染は続いている	世界週報	9110003	時事通信社	1988/4/26	69	18	p22-25
743	本間 悟,高橋 正,山垣 浩司	チェルノブイリ原子力発電所事故による新潟市上水道の放射能汚染と活性炭による除去実験	水道協会雑誌	3710785	日本水道協会	Jan-88	57	1	p24-29
744		チェルノブイリ原子力発電所の事故—医学的側面	原子力資料	3870928	日本原子力産業会議	Dec-88			p17-57
745	浜谷 喜美子	今もつづくチェルノブイリ汚染	月刊自治研	13425021	自治研中央推進委員会	Mar-88	30	3	p83-85
746	木村 富士男,吉川 友章	チェルノブイリ原子力発電所事故による放射性物質の地球規模の拡散の数値シミュレーション[英文]	気象集誌	261165	日本気象学会	Jun-88	66	3	p489-495
747	松岡 信夫	ソ連におけるチェルノブイリ後遺症の研究	技術と人間	2855186	技術と人間	Dec-88	17	12	p10-17
748	伊方原発行政訴訟弁護団	チェルノブイリ事故はどれだけの被害をもたらしたか—伊方訴訟・上告理由補充書より	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-88	17	10	p108-119

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
749	コヴァレンコ A., トロイツキー S., 松岡 信夫	チェルノブイリの光と影	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-88	17	9	p37-51
750	講演 ヨヒムセン ユーリヒ, 尾崎 薫, 橋爪 健郎	脱原発に向かう世界--チェルノブイリ後のヨーロッパから	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-88	17	9	p59-67
751	栗原 透	窪川原発闘争勝利の記録--経過の概要と反対運動のあらまし(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p107-119
752	河野 近子	原発の内包するもの--大分からのアピール(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p101-105
753	秋山 和枝	自分の場所から反原発に取り組んで(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p96-100
754	山根 雅子	新たな反原発運動の体験から(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p86-93
755	中川 徹	反原発運動, いま, むかし--名古屋と芦浜をむすぶ10余年をふりかえる(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p72-83
756	山田 清彦	核燃まいね! 下北からの便り--「下北」半島を「死も来た」半島にさせぬために(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p62-70
757	つるが反原発ますほのかい	頻発する事故のもとで--原発城下町・敦賀の現状に抗して(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p55-59
758	武本 和幸	柏崎, 劣悪地盤に集中立地--電力過剰の中での原発増設とジャピックの水盗り計画(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p47-54
759	滝川 康治	最終処分地を狙う幌延計画--後始末時代にほんろうされる過疎地(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p36-46
760	河田 昌東	制御棒はなぜ入らなかったか--制御不能におちいった浜岡原発1号炉(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p26-35
761	小林 圭二	原発出力調整運転の問題性(チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p12-25
762		チェルノブイリから2年, いま日本では<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-88	17	4	p12-119
763	田村 光彰	能登原発建設をめぐるふたつの住民投票(チェルノブイリから2年, いま世界では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p53-63
764	明石 昇二郎	ドキュメント・反核燃の日(チェルノブイリから2年, いま世界では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p42-52
765	インタビュー 武谷 三男	推進派はチェルノブイリから何を学んだか(チェルノブイリから2年, いま世界では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p34-41

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
766	天笠 啓祐	第3世界の原発はいま(チェルノブイリから2年,いま世界では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p27-33
767	天笠 啓祐	世界の原発と反原発の潮流(チェルノブイリから2年,いま世界では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p18-26
768	松岡 信夫	ソ連で始まった原発論争(チェルノブイリから2年,いま世界では<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p10-17
769		チェルノブイリから2年,いま世界では<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	May-88	17	5	p10-63
770	シチェルバク ユーリ-,松岡 信夫	ドキュメント・チェルノブイリからの報告-続-事故の前ぶれ	技術と人間	2855186	技術と人間	Jan-88	17	1	p108-115
771	内山 正史	チェルノブイリによる日本人の内部被曝	科学朝日	3684741	朝日新聞社	Oct-88	48	10	p58-61
772	団藤 保晴	新市民運動に火つけた出力調整試験(チェルノブイリ事故から2年)	科学朝日	3684741	朝日新聞社	May-88	48	5	p123-129
773	大田 憲司	原子力にもペレストロイカの波(チェルノブイリ事故から2年)	科学朝日	3684741	朝日新聞社	May-88	48	5	p116-122
774		チェルノブイリ事故から2年	科学朝日	3684741	朝日新聞社	May-88	48	5	p116-129
775	瀬尾 健,今中 哲二,小出 裕章	チェルノブイリ事故による放出放射能	科学	227625	岩波書店	Feb-88	58	2	p108-117
776	西尾 漢	世界に吹きまくる「脱原発」の風--“チェルノブイリ”が影落とす	エコノミスト	130621	毎日新聞社	1988/4/19	66	18	p70-75
777	横路 謙次郎	原爆およびチェルノブイリ原発事故の後影響	医学のあゆみ	392359	医歯薬出版	#####	147	9	p771-773
778	松原 純子	チェルノブイリ事故と人体影響(チェルノブイリ事故その後)	医学のあゆみ	392359	医歯薬出版	1988/8/20	146	8	p587-590
779	BONDIETTI E. A.	Size distributions and growth of natural and Chernobyl-derived submicron aerosols in Tennessee	J. Environ. Radioactivity			1988	6		99
780	ONISAWA T.	Fuzzy Human Reliability Analysis on the Chernobyl Accident	Fuzzy Sets and Systems			1988	28	2	115-127
781	橋爪 健郎,HASHIZUME Takeo	FALLOUT IN KYUSYU FROM THE ACCIDENT OF CHERNOBYL NUCLEAR PLANT	鹿児島大学理学部紀要. 数学・物理学・化学	3854027	鹿児島大学,カゴシマダイガク,Kagoshima University	#####	20		63-69
782	槌田 敦	27A-Z-2 原発巨大事故の考察I、チェルノブイリ事故	秋の分科会講演予稿集		社団法人日本物理学会	1987/9/16	1987	4	1
783	大塚 益比古	チェルノブイリ原子炉の事故	日本物理學會誌	290181	社団法人日本物理学会	1987/8/5	42	8	716-720
784	早田 邦久,村松 健	コンピュータ国際会議『チェルノブイリ事故の教訓』: 電子会議実施例	情報の科学と技術	9133801	社団法人情報科学技術協会	1987/7/1	37	7	267-273
785	TANAKA GI-ICHIRO,NAGAYA YUTAKA,KAWAMURA HISAO	Determination of major radionuclides in the property of tourists to U. S. S. R. following Chernobyl nuclear accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	96



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
786	NAKAO ISAMU,SUZUKI GEN,IMAI YASUFUMI,OHYAMA HARUMI,KAWASE YOSHIKO,OHTANI MASAKO,HACHIYA MISAO,KIMURA	Screening level of Decontamination in Radiation Accidents: With regard to the Radiation Survey for the Passengers from the Regions around	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	96
787	KAWAMURA HISAO,SHIRAISHI KUNIO	Measurement of radionuclides in human excreta following the Chernobyl nuclear accident-radioiodine in urine.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	95
788	MURAMATSU YASUYUKI,SUMIYA MISAKO,OHMOMO YOICHIRO	Concentrations and Chemical Forms of <sup>131</sup> I in Environmental Samples Collected in Ibaraki-Prefecture after the Chernobyl Reactor Accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	93
789	AOYAMA MICHIO,HIROSE KATSUMI,SUGIMURA YUKIO	Radioactive Fallout in May 1986 in Japan Derived from Chernobyl Reactor Accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	71
790	ABE SIRO,ABE MICHIKO,FUJITAKA KAZUNOBU,FUJIMOTO KENZO	A Preliminary Estimate of the Japanese Public Dose from the Chernobyl Accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	70
791	SHIZUMA KIYOSHI,IWATANI KAZUO,HASAI HIROMI,NISHIYAMA FUMITAKA,KISO YOSHIYUKI,HOSHI MASAHARU,SAWADA SHOZO	Observation of fallout in Hiroshima caused by the reactor accident at Chernobyl	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	70
792	MORISHIMA HIROSHIGE,KOGA TAEKO,HISANAGA SAEMI,NIWA TAKEO,KAWAI HIROSHI,I TOH TETSUO,MIKI RYOTA,KONDO SOHEI	Environmental Contamination from Chernobyl Reactor Accident in USSR.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	69
793	MORITA MIYUKI,SHOJI MIKI,HONDA TAKASHI,SAKANOUÉ MASANOBU	The influence of the nuclear reactor accident at Chernobyl on the environmental radioactivity in Toyama.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	68
794	ABE MICHIKO,ABE SIRO	Trends of Activity Concentration and Particle Size Distribution of Airborne Dusts at Chiba from the Reactor Accident at Chernobyl.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	67
795	IWAI MAKOTO,ISHIDA JUNICHIRO,OKA TSUTOMU,KINOSHITA MUTSUMI	Some Aspects on Environmental Monitoring of the Chernobyl Accident in Ibaraki Area.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	67
796	YANASE NOBUYUKI,PANYATIPSAKUL YUREEPORN,MATSUNAGA	Concentration of Radionuclides in Air and Dose Estimation by Inhalation due to the Chernobyl Reactor Accident.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	67
797	AOYAMA MICHIO,HIROSE KATSUMI,INOUE HISAYUKI,SUZUKI YOSHIMI,SUGIMURA YUKIO	Chernobyl Activities in Surface Air at Tsukuba.	Journal of radiation research	4493060	日本放射線影響学会	Mar-87	28	1	66
798	松岡 信夫	原発楽観論を糾(ただ)す--チェルノブイリ原発事故から学ぶもの(原発問題を考える)	平和経済	9147322	平和経済計画会議	Nov-87			p99-106
799	平良 初男,上間 均	沖縄本島で観察されたチェルノブイリ原発事故の影響	琉球大学理学部紀要	2869640	琉球大学理学部	Oct-87			p87-100

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
800	天野 道映	ベルリン・ドイツ・オペラ公演「ニーベルングの指環」日本初演―神々の城ワルハラがチェルノブイリさながらの核爆発を起こす―暗喩と象徴の大胆な解説	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	#####	29	47	p92-97
801	今村 彰佑	私は放射能を感じた(現地報告)(チェルノブイリ1年後の恐怖)	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1987/6/19	29	26	p14-17
802		チェルノブイリ1年後の恐怖	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1987/6/19	29	26	p14-19
803	桜井 淳	チェルノブイリから1年―巨大技術の落とし穴	知識	3885941	彩文社	Jul-87			p284-293
804	赤堀 勝彦, 埜口 忠敬	輸入貨物の放射能汚染と保険填補―ソ連チェルノブイリ原子力発電所の事故による放射能汚染に関する貨物海上保険における填補責任についての一考察	海事法研究会誌	3850544	日本海運集会所	Apr-87			p13-19
805	鶴野 晃	わが国の原子力防災計画はこれでよいか―チェルノブイリ原発事故に学んで	日本の科学者	290335	日本科学者会議	Jan-87	22	1	p46-51
806	滝沢 行雄	チェルノブイリ原子力発電所事故に伴う放射能汚染とその被ばく線量評価	日本公衆衛生雑誌	5461766	日本公衆衛生学会	Jan-87	34	1	p3-9
807	稲葉 次郎	チェルノブイリ事故にかかわるIAEAの放射線防護活動	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Jun-87	29	6	p493-497
808	佐藤 一男	チェルノブイリ原子力発電所事故の原因と経過(資料)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Jan-87	29	1	p11-14
809	市川 竜資	チェルノブイリ原子力発電所事故の環境と人体への影響(資料)	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Jan-87	29	1	p15-17
810	kramer John M.	チェルノブイリと東欧(「共産主義の諸問題」誌1986年11～12月号)(チェルノブイリから1年<特集>)	世界週報	9110003	時事通信社	1987/5/5	68	18	p39-53
811	Marples David R.	チェルノブイリとウクライナ(「共産主義の諸問題」誌1986年11～12月号)(チェルノブイリから1年<特集>)	世界週報	9110003	時事通信社	1987/5/5	68	18	p30-39
812	岡橋 恒夫	何も変わっていないソ連の原発事情(チェルノブイリから1年<特集>)	世界週報	9110003	時事通信社	1987/5/5	68	18	p26-29
813		チェルノブイリから1年<特集>	世界週報	9110003	時事通信社	1987/5/5	68	18	p26-53
814	江刺 昭子	大田洋子・ヒロシマからの遺書―チェルノブイリと原爆と	世界	5824532	岩波書店	Sep-87			p259-275
815	西村 幹夫	国際的スcoop―3つの背景―「チェルノブイリ原発事故に関するソ連報告書のスcoop」(受賞報告)(昭和62年度新聞協会賞編集部門受賞者・授賞理由・受病める地球―環境破壊と人類の未来―1―チェルノブイリ)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Oct-87			p12-15
816	高木 仁三郎	「チェルノブイリ最後の警告」(高木仁三郎著)、「廃炉に向けて―女性にとって原発とは何か」(綿貫礼子編)―原爆社会からの離脱へ	公明	4542436	公明機関紙局	Jul-87			p82-89
817	藤田 裕幸	「チェルノブイリ最後の警告」(高木仁三郎著)、「廃炉に向けて―女性にとって原発とは何か」(綿貫礼子編)―原爆社会からの離脱へ	公明	4542436	公明機関紙局	Jun-87			p165-168

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
818	佐久間 邦夫	ソ連の動向-4-チェルノブイリの真実	現代の理論		現代の理論社	Jun-87	24	6	p76-82
819	ブリックス H.	原子力開発と安全性における国際協力 -チェルノブイリ後の展望(第20回原産 年次大会から)	原子力資料	3870928	日本原子力産業会議	Jul-87			p1-12
820	岡本 和人	チェルノブイリ事故の放射能放出-ソ スターム研究との関係	原子力工業	4334035	日刊工業新聞社	Oct-87	33	10	p27-35
821	村山 喜一	ノ-モア-チェルノブイリ	月刊社会党	4351754	日本社会党中央本部機 関紙局	Sep-87			p80-90
822	西尾 渙	チェルノブイリ事故から1年-日本の原 発こそ危険	月刊社会党	4351754	日本社会党中央本部機 関紙局	May-87			p94-103
823	小沢 克介	反原発から脱原発へ-チェルノブイリ原 発事故の教訓をどう生かすか,体系的な エネルギー政策の確立をめざして	月刊社会党	4351754	日本社会党中央本部機 関紙局	Apr-87			p111-124
824	浜谷 喜美子	広がる運動停止を求める動き-チェル ノブイリ事故後のアメリカ(ニュークリウス 紙1987年春号)	月刊自治研	13425021	自治研中央推進委員会	Jun-87	29	6	p85-87
825	海外市民活動情報センター	チェルノブイリ原発事故のその後	月刊自治研	13425021	自治研中央推進委員会	Jan-87	29	1	p90-92
826	高木 仁三郎	チェルノブイリから見えてくるもの…(戦 争のおこしかた<特集>)	教育評論	235997	アドバンテ-ジサー-バ-	Sep-87			p34-37
827	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故-関連日誌-12- 87年8月1日~9月30日	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-87	16	11	p87-90
828	パーソン クリスタ-、ローデ ヘニング、デ イェール ラ-ス=エリック	チェルノブイリの雲はどう流れたか-ス ウェ-デン気象学者による追跡-下- (AMBIO,87年1月号)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-87	16	11	p76-86
829	シチェルバク ユ-リ-、松岡 信夫	ドキュメント-チェルノブイリからの報告	技術と人間	2855186	技術と人間	Dec-87	16	12	p56-70
830	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故-関連日誌-10- 87年5月1日~5月31日	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-87	16	7	p128-131
831	パーソン クリスタ-、ローデ ヘニング、デ イェール ラ-ス=エリック	チェルノブイリの雲はどう流れたか-ス ウェ-デン気象学者による追跡	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-87	16	9	p52-65
832	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故-関連日誌-11- 87年6月1日~7月31日	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-87	16	9	p86-91
833	高橋 昇	チェルノブイリ事故後のソ連(チェルノブ イリ事故から1年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p68-77
834	舟田 正	イタリア通信-8-揺れる原子力政策,どう なる国民投票(チェルノブイリ事故から1 年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p62-67
835	天笠 啓祐	トルコではいま(チェルノブイリ事故から 1年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p58-61
836	田代 ヤネス・和温	チェルノブイリの雲の下で-続-技術者 の誇り(チェルノブイリ事故から1年,いま 世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p48-56

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
837	田窪 雅文	燃え広がる運転停止の炎--TMI・チェルノブイリ後のアメリカ(チェルノブイリ事故から1年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p36-47
838	スウェーデン・アトミック・フォーラム,天笠 啓祐	スウェーデンの原発廃止へのシナリオ(「スウェーデン原子力ニュース」86年12月第3号)(チェルノブイリ事故から1年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p30-35
839	スウェーデン食糧庁,天笠 啓祐	食品中のセシウム汚染(チェルノブイリ事故から1年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p19-29
840	ペーターソン R.C.,ランドナー L.,ブランク H.	スウェーデンにおける淡水魚類の汚水--スウェーデンの川と湖の生物に与えたチェルノブイリ事故の影響評価(AMBIO,vol.15,no.6)(チェルノブイリ事故から1年,いま世界は<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p8-18
841		チェルノブイリ事故から1年,いま世界は<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p8-77
842	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-7-87年2月1日~2月28日	技術と人間	2855186	技術と人間	Apr-87	16	4	p83-87
843	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-8-87年3月1日~3月31日	技術と人間	2855186	技術と人間	May-87	16	5	p78-81
844	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-9-87年4月1日~4月30日	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-87	16	6	p115-119
845	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-6-86年12月1日~87年1月31日	技術と人間	2855186	技術と人間	Mar-87	16	3	p56-63
846	田代 ヤネス・和温	チェルノブイリの雲の下で--許容値をめぐる数字の魔術	技術と人間	2855186	技術と人間	Mar-87	16	3	p44-55
847	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-5-11月3日~11月30日	技術と人間	2855186	技術と人間	Jan-87	16	1	p76-79
848	西尾 初紀	チェルノブイリ原発事故関連テクニカルレポート	科学技術文献サービス	227633	国立国会図書館	Sep-87			p17-21
849	溝江 昌吾	深刻な放射能汚染の長期的影響--ソ連・チェルノブイリ原発事故	科学朝日	3684741	朝日新聞社	Jan-87	47	1	p83-89
850	大沢 孝明	チェルノブイリ現象の特殊性と一般性(話題)	科学	227625	岩波書店	Jul-87	57	7	p434-439
851	藤谷 達也,大西 正幸	チェルノブイリ原発事故に由来する放射能汚染について-2-	海技大学校研究報告	2883708	海技大学校	Mar-87			p43-46
852	藤谷 達也,磯村 公郎	チェルノブイリ原発事故に由来する放射能汚染について-1-	海技大学校研究報告	2883708	海技大学校	Mar-87			p35-41
853	吉村 一郎	ソ連の情報政策・ケース・スタディー-ソ連紙のチェルノブイリ事故報道にみられる報道政策の狙いと真実の分析	海外事情研究所報告	2883449	拓殖大学海外事情研究所	1987			p349-365
854	松岡 信夫	「チェルノブイリ」後何が起きたか--頻発する人事異動,住民からは不安	エコノミスト	130621	毎日新聞社	1987/5/11	65	20	p108-113
855	広瀬 隆	食卓が危ない--チェルノブイリ原発事故の汚染された食物が,すでに日本にきている(問題摘出!)	潮		潮出版社	Nov-87			p122-135

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
856	佐藤 一男	チェルノブイリ原子力発電所事故(安全工学協会 創立30周年記念特集号)	安全工学	5704480	安全工学協会	Dec-87	26	6	p373-379
857	守田 美雪	富山におけるチェルノブイリ原発事故の影響	Radioisotopes	338303	日本アイソトープ協会	Jun-87	36	6	p282-285
858	柏森 伸子,村上 直行,小西 徹也	チェルノブイリ原子力発電所事故--新潟市におけるフォールアウト核種の同定	Radioisotopes	338303	日本アイソトープ協会	Jun-87	36	6	p278-281
859	田中 靖政	チェルノブイリ・シンドローム	学習院大学法學部研究年報	4350456	学習院大学	1987	22		23-77
860	森嶋 彌重,古賀 妙子,久永 小枝美	ソ連チェルノブイリ原子力発電所事故に伴う放射性降下物の観測(I)	近畿大学原子力研究所年報	3748715	近畿大学	1986/11/1	23		7-19
861	杉山 英男	イギリスにおけるチェルノブイリ原子力発電所事故初期影響調査	ファルマシア	148601	社団法人日本薬学会	1986/9/1	22	9	999-1000
862	保木本 一郎	巨大技術の発達と法的統制の行方--チェルノブイリ炉心溶融をめぐって	法セミ	4393295	日本評論社	Aug-86			p30-35
863	垣花 秀武	チェルノブイリ原発事故の波紋--国際協力体制を強化せよ	どうめい	4196236	全日本労働総同盟	Jul-86			p36-39
864	高木 仁三郎	ヨーロッパをおおうセシウム2の暗い影--ポスト・チェルノブイリ時代に癌死50万	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	#####	28	46	p22-26
865	座談会 リンド モニカ	ヨーロッパへ広がるチェルノブイリ・ショック--見えざる"原子雲"におののく新たな被曝地からの報告	朝日ジャーナル	5712378	朝日新聞社	1986/8/15	28	34	p104-109
866	大蔵 雄之助	釣りではアル中は治るか(チェルノブイリ後のソ連<特集>)	知識	3885941	彩文社	Sep-86			p166-173
867	宮崎 正弘	ソ連が狙う先端技術リスト(チェルノブイリ後のソ連<特集>)	知識	3885941	彩文社	Sep-86			p156-165
868	柴崎 嘉之	宿敵中国に学ぶソ連農業(チェルノブイリ後のソ連<特集>)	知識	3885941	彩文社	Sep-86			p146-154
869	松井 謙	赤い三流通貨ルブルの悲劇(チェルノブイリ後のソ連<特集>)	知識	3885941	彩文社	Sep-86			p136-144
870	西村 文夫	ゴルバチョフの信頼度(チェルノブイリ後のソ連<特集>)	知識	3885941	彩文社	Sep-86			p126-134
871		チェルノブイリ後のソ連<特集>	知識	3885941	彩文社	Sep-86			p126-173
872	ベーリン-ジャンセン H.	住民を見殺しにしたチェルノブイリ事故(チェルノブイリ事故,その後(インサイト誌特約))	知識	3885941	彩文社	Aug-86			p283-287
873	エバー-シュタット N.	ソ連の体質に潜む秘密主義(チェルノブイリ事故,その後(インサイト誌特約))	知識	3885941	彩文社	Aug-86			p278-282
874		チェルノブイリ事故,その後(インサイト誌特約)	知識	3885941	彩文社	Aug-86			p278-287
875	土田 隆	疑問だらけのソ連原発事故報道(チェルノブイリの衝撃!!)	知識	3885941	彩文社	Jul-86			p174-181
876	沢 英武	赤いゴースタウン(ドキュメント構成)(チェルノブイリの衝撃!!)	知識	3885941	彩文社	Jul-86			p164-172
877		チェルノブイリの衝撃!!	知識	3885941	彩文社	Jul-86			p164-181

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
878	原 卓也	チェルノブイリと黙示録	すばる	3876381	集英社	Sep-86	8	9	p172-181
879	近藤 駿介	チェルノブイリ原子力発電所事故について(ソ連原発事故をめぐる特別企	プロメテウス	3862828	創造	Jul-86	10	4	p12-15
880	土器屋 由紀子	チェルノブイリ原子力発電所事故による大気汚染	ぶんせき	3862178	日本分析化学会	Nov-86	1986	11	p811-813
881	前田 利夫	原発の「安全神話」に警鐘—チェルノブイリ原発事故が示すものは	あすの農村		日本共産党中央委員会	Jul-86			p32-37
882	岩城 成幸	ソ連チェルノブイリ原発事故をめぐる—ソ連経済の“病弊”とソ連の原子力“安全哲学”を中心に	レファレンス	342912	国立国会図書館調査及び立法考査局	Oct-86	36	10	p26-53
883	入内島 修	チェルノブイリ原発事故報道に思う	立法と調査		参議院事務局	Oct-86			p26-29
884	豊田 有恒	現実SFを超える?(チェルノブイリ・シンドローム)	文芸春秋		文芸春秋	Jul-86	64	7	p292-298
885	谷畑 良三	要塞国家の「イワンの論法」(チェルノブイリ・シンドローム)	文芸春秋		文芸春秋	Jul-86	64	7	p287-292
886	滝沢 一郎	戦闘日誌とニチュボ—主義(チェルノブイリ・シンドローム)	文芸春秋		文芸春秋	Jul-86	64	7	p282-287
887	中村 政雄	世紀の事故はこうして始まった(チェルノブイリ・シンドローム)	文芸春秋		文芸春秋	Jul-86	64	7	p273-282
888		チェルノブイリ・シンドローム	文芸春秋		文芸春秋	Jul-86	64	7	p272-298
889	静間 清	広島におけるチェルノブイリ原子力発電所事故による環境放射能汚染	広島大学工学部研究報告	182060	広島大学工学部	Dec-86	35	1	p19-28
890	中原 純,岡本 良治,森 茂康	チェルノブイリ原発事故の警告—日本の原発だけが「安全」か	日本の科学者	290335	日本科学者会議	Dec-86	21	12	p698-705
891	野口 邦和	チェルノブイリ原発事故シンポジウムに参加して	日本の科学者	290335	日本科学者会議	Dec-86	21	12	p691-697
892	若林 利男	チェルノブイリ原子力発電所事故解析—核・熱特性および事故再現性解析	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Dec-86	28	12	p1153-1164
893	原子力安全調査専門委員会	チェルノブイリ炉に関する技術資料	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Sep-86	28	9	p812-818
894	宮崎 慶次	チェルノブイリ事故とIAEA—ANS年会「チェルノブイリ事故特別セッション」より	日本原子力学会誌	47120	日本原子力学会	Jul-86	28	7	p611-614
895	内村 剛介	ソ連行刑用語物語—番外篇—黙示録が示すチェルノブイリ—「終りのはじめ」—弱者が強者恫喝する時代の予兆	日本及日本人	5461138	日本及日本人社	Jul-86			p90-97
896	高榎 堯	チェルノブイリ原発事故とその後—原発事故の諸影響と各国の対応,世論	総評調査月報		日本労働組合総評議会経済局	Jul-86	20	7	p2-11
897	角田 道生	転換もとめられる日本の原発—チェルノブイリの教訓から	前衛	13425013	日本共産党中央委員会	Aug-86			p85-101
898	角田 道生	チェルノブイリからの警鐘—技術問題を中心に	前衛	13425013	日本共産党中央委員会	Jul-86			p156-176
899	世界週報編集部	チェルノブイリ原発事故を検証する—根本的原因は炉の設計ミス!	世界週報	9110003	時事通信社	1986/9/16	67	37	p12-18

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
900	五木 昭郎	制御できなかった核エネルギー---チェルノブイリ・ケースを読む	世界	5824532	岩波書店	Jul-86			p98-110
901	橋本 信之	住民側に立った「ウォッチマン」の役割 (チェルノブイリ・ショック---原発のまちはいま)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Nov-86			p53-55
902	鳥島 正幸	何よりも必要な情報公開 (チェルノブイリ・ショック---原発のまちはいま)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Nov-86			p50-52
903	花田 昂	「原発銀座」周辺の反応を探る---遠隔地ほど強い不安感 (チェルノブイリ・ショック---原発のまちはいま)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Nov-86			p47-49
904		チェルノブイリ・ショック---原発のまちはいま	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Nov-86			p47-55
905	室田 武	検証---原発事故報道 (チェルノブイリ原発事故を追う)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p87-91
906	大蔵 雄之助	繰り返された情報操作 (チェルノブイリ原発事故を追う)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p83-86
907	岡崎 醇平	苦艾(よもぎ)を嚙(か)んだ---手さぐり編集集, 原発事故 (チェルノブイリ原発事故を追う)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p80-82
908	山崎 博康	極限状況下の情報と民心---ポーランド当局の広報戦略 (チェルノブイリ原発事故を追う)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p75-79
909	原 剛	情報の公開性と閉鎖性---スウェーデンから見るソ連の秘密主義 (チェルノブイリ原発事故を追う)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p70-74
910	新妻 義輔	「秘密主義」のなかの原発---世論とつながる情報公開を (チェルノブイリ原発事故を追う)	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p66-69
911		チェルノブイリ原発事故を追う	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Aug-86			p66-91
912	小松原 久夫	チェルノブイリ原発事故にみる米国報道界の「レッド・バッシング」	新聞研究	2880652	日本新聞協会	Jun-86			p56-59
913	木村 汎, 伊藤 憲一	チェルノブイリ「1万分の1」の衝撃波 (原発事故と技術情報社会<特集>)	諸君	9173005	文芸春秋	Jul-86	18	7	p64-78
914	藤田 祐幸	チェルノブイリ5分前・日本の原発 (核を考える)	公明	4542436	公明機関紙局	Nov-86			p80-85
915	小出 裕章	チェルノブイリ原子力発電所事故の教訓	公害研究	3870030	岩波書店	Oct-86	16	2	p37-46
916	Gofman John W., 塚谷 恒雄	チェルノブイリ原子力発電所事故---全身の被曝による発ガンを評価する簡易法について	公害研究	3870030	岩波書店	Jul-86	16	1	p62-64
917	永井 清彦	「チェルノブイリ以後」の西ドイツと日本	現代の理論		現代の理論社	Sep-86	23	9	p64-71
918		チェルノブイリ原子力発電所事故後の各国における動向について	原子力資料	3870928	日本原子力産業会議	Aug-86			p57-61
919	インタビュー 高木 仁三郎	チェルノブイリ事故の教訓---世界各地に広がる新たな反原発運動	月刊総評	4332709	日本労働組合総評議会	Dec-86			p52-55

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
920	高木 仁三郎	つき崩された「安全神話」—地球を走ったチェルノブイリ原発事故の恐怖	月刊総評	4332709	日本労働組合総評議会	Jul-86			p26-29
921	樋田 敦	制御できない核エネルギー—チェルノブイリ原発事故が示すもの(非核社会をめざして<特集>)	月刊社会党	4351754	日本社会党中央本部機関紙局	Aug-86			p37-49
922	市川 定夫	核と環境—チェルノブイリ原発事故とその衝撃(非核社会をめざして<特集>)	月刊社会党	4351754	日本社会党中央本部機関紙局	Aug-86			p28-36
923	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-4-10月1日～10月31日	技術と人間	2855186	技術と人間	Dec-86	15	12	p91-95
924	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-3-9月1日～9月30日(チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p61-65
925	天笠 啓祐	いま下北半島は-1-むつ市へ(チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p46-57
926	Documentation for Action Groups in Asia.ボパール事件を監視する会	台湾の反公害運動(香港「90年代」誌より)(チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p41-45
927	宮嶋 信夫	レーガンの軍拡政策と米国経済(チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p28-39
928	インタビュー 前田 哲男	海洋のチェルノブイリ—原潜事故と海洋汚染の可能性(チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p20-27
929	インタビュー 高木 仁三郎	国境を越えた脱原発のたたかい(チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p12-19
930		チェルノブイリ後の原子力-2-<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Nov-86	15	11	p12-57,61 ~65
931	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-2-6月30日～8月31日(チェルノブイリ後の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-86	15	10	p26-33
932		チェルノブイリ原発事故の経過(資料)(チェルノブイリ後の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-86	15	10	p18-25
933	インタビュー 江草 福治	ソ連原発事故国際会議とは何だったのか—IAEA専門家会議をめぐる(チェルノブイリ後の原子力<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-86	15	10	p8-15
934		チェルノブイリ後の原子力<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Oct-86	15	10	p8-35
935	講演 松岡 信夫	チェルノブイリ後のソ連とアメリカ	技術と人間	2855186	技術と人間	Aug-86	15	8	p65-77
936	舟田 正	イタリア通信・番外編—チェルノブイリ原発事故とイタリア	技術と人間	2855186	技術と人間	Aug-86	15	8	p59-64
937	水戸 巖	チェルノブイリ原発事故の汚染規模	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-86	15	9	p9-21
938	市民エネルギー研究所	チェルノブイリ原発事故・関連日誌-1-4月26日～6月30日	技術と人間	2855186	技術と人間	Sep-86	15	9	p22-32
939	北山 五郎	放射性廃棄物のガラス固化は確立された技術か?-4-死の灰としてのルテニウム(チェルノブイリ原発事故を追跡する)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-86	15	7	p97-99



No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
940	田中 敬太郎	大規模電力ネットワークの終焉--送電鉄塔事故と大停電(チェルノブイリ原発事故を追跡する)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-86	15	7	p89-96
941	高橋 昇	チェルノブイリ核惨事の背景--メドベージェフ論文の紹介(チェルノブイリ原発事故を追跡する)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-86	15	7	p84-88
942		チェルノブイリ原発事故を追跡する	技術と人間	2855186	技術と人間	Jul-86	15	7	p84-99
943	インタビュー 武谷 三男	事故の哲学-続-(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p89-96
944	バーテル ロザリ-、淵脇 耕一	放射能が遺伝に及ぼす影響--「放射能毒性事典」より(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p80-87
945	北山 五郎	放射性廃棄物のガラス固化は確立された技術か?-3-チェルノブイリの死の灰から(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p78-79
946	天笠 啓祐	ウクライナの核惨事--経過を追って(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p70-77
947	技術と人間編集部	事故を起こした原子炉--RBMK-1000とは?(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p67-69
948	矢代 和克	炉心熔融事故と原発現地--柏崎からの報告(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p63-66
949	西尾 漢	原発を止める運動にどうつなげるか(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p58-62
950		ソ連の原発開発と自然破壊--「コムニスト」論文が示すもの(技術と人間80年2月号掲載論文・再録)(チェルノブイリ原発事故<特集>)--(テクノロジー・クライシスと私たち)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p45-55
951	松岡 信夫	テクノロジー・クライシスと私たち(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p42-55
952	高橋 昇	ソ連原発30年の歩み(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p38-41
953	槌田 敦	チェルノブイリ原発事故と住民被曝(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p31-37
954	槌田 敦	スリーマイル島原発事故7周年・何を思い出すべきか(チェルノブイリ原発事故)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p24-30
955	藤本 陽一	事故の原因と影響の推定(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p20-23
956	水戸 巖	事故はどれくらいの規模か?--日本でもし同様の事故が起きたら(チェルノブイリ原発事故<特集>)	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p13-19
957		チェルノブイリ原発事故<特集>	技術と人間	2855186	技術と人間	Jun-86	15	6	p8-96
958	Wilkie Tom,科学編集部	チェルノブイリ以後のヨーロッパの原子力	科学	227625	岩波書店	Sep-86	56	9	p538-541

No.	著者名	論文名	雑誌名	ISSN	出版者名	出版日付	巻	号	ページ
959	高榎 堯	チェルノブイリ原発事故(話題)	科学	227625	岩波書店	Jul-86	56	7	p429-433
960	欧州消費者連合会,浜谷 喜美子	資料 チェルノブイリ原発事故の余波 (チェルノブイリ原発事故)	エコノミスト	130621	毎日新聞社	#####	64	44	p57-62
961	桜井 淳	人為的ミスでなく原子炉に欠陥--米TMI 事故との共通点も(チェルノブイリ原発)	エコノミスト	130621	毎日新聞社	#####	64	44	p50-56
962		チェルノブイリ原発事故	エコノミスト	130621	毎日新聞社	#####	64	44	p50-62
963	山本 知佳子	チェルノブイリ・ショック体験記--西ベル リンで実感する「明日は我が身」	エコノミスト	130621	毎日新聞社	#####	64	46	p78-83
964	インタビュー ゲール ロバート,インタビュー Dowie Mark,潮編集部	チェルノブイリの地獄絵図--アメリカ人 医師は見た	潮		潮出版社	Nov-86			p142-155
965	飯田 三郎	世界の眼--チェルノブイリ原発後遺症	潮		潮出版社	Aug-86			p110-113
966	広瀬 隆	チェルノブイリ原発炎上	潮		潮出版社	Jul-86			p112-123
967	KOIDE Hiroaki	The Accident at Chernobyl Atomic Station and Its Lessons	環境と公害：自 然と人間の共生 を求めて	9187537	学術雑誌目次速報デー タベース由来	1986	16	2	37-46